

《学生確保 資料目次》

資料番号	資料名	ページ
資料1	2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）	2
資料2	『徳山大学』公立化および学部・学科に関する受容性把握調査	4
資料3	徳山大学公立化の検討に係る事業所等アンケート調査	6
資料4	まち・ひと・しごと創生基本方針2019について	8
資料5	2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）	10
資料6	地域連携プラットフォーム構築に関するガイドライン～地域に貢献し、地域に支持される高等教育～	15
資料7	第2期周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略〔令和3年度改訂版〕	17
資料8	周南公立大学新設学部設置構想についてのアンケート調査高校生アンケート	20
資料9	同分野を有する近隣大学の志願動向	43
資料10	競合校の志願動向の状況	44
資料11	周南公立大学新設学部設置構想についてのアンケート調査人材需要アンケート	45

2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン
(答申)

平 成 3 0 年 1 1 月 2 6 日

中 央 教 育 審 議 会

とができるよう、国は学校基本調査等を用いた基本的なデータの整理を行うことが必要である³⁸。

（国が提示する将来像と地域で描く将来像）

人口減少がより急速に進むこれからの 20 年間においては、地方における質の高い教育機会の確保が大きな課題となる。現状においては、全体としての学生数は増加する一方で、私立大学の約 4 割が定員割れとなっている。我が国においては、私立大学が多く、かつ、小規模の大学が多いのが特徴であり、特に小規模な大学が多い地方において学生確保が厳しくなっている。今後、産業形態が一極集中型から遠隔分散型へと転換する想定の中では、地方における高い能力を持った人材の育成に期待がかかっている。これは教育界だけの課題ではなく、産業界を含めた地方そのものの発展とも密接に関連する課題である。そういう意味では、**高等教育の将来像を国が示すだけでなく、それぞれの地域において、高等教育機関が産業界や地方公共団体を巻き込んで、それぞれの将来像となる地域の高等教育のグランドデザインが議論されるべき時代を迎えていると考えられる。**

この場合に、その地域の単位は、各高等教育機関が結びつきの強い地域を中心に、歴史や文化に裏打ちされた、経済圏や生活圏といった関わりや、昨今の国際化の状況も踏まえて捉えることが適切である。その際は、必要な関係者と議論していく必要がある。

そのために、地域の高等教育機関が高等教育という役割を越えて、地域社会の核となり、産業界や地方公共団体等とともに将来像の議論や具体的な連携・交流等の方策について議論する「地域連携プラットフォーム（仮称）」を構築することが必要である。各高等教育機関は地域の人材を育成し、地域の行政や産業を支える基盤である。これを十分に機能させていくためには、常に地域において何が必要とされているのか、地域に対して当該高等教育機関が何を提供できるのか、等の観点についての情報共有と連携が欠かせない。「地域連携プラットフォーム（仮称）」においては、18 歳の伝統的な人材育成ニーズのみならず、リカレント教育、共同研究の在り方、まちづくりのシンクタンクとしての機能など幅広い観点を議論する場とする必要がある。その際には、地域の高等教育機関の経営戦略が重要であり、学長等、トップの力量と覚悟が求められる。

「地域連携プラットフォーム（仮称）」を構築する際には、地域の高等教育機関を中心として、地方公共団体、産業界等が積極的に関わり、その果たせる役割も含め、当該地域の高等教育のグランドデザインを提示していくことが重要である。

³⁸ その他、jSTAT MAP などの統計 GIS（地理情報システム）を用いたデータの活用方法を紹介することも検討。

『徳山大学』 公立化および学部・学科に関する 受容性把握調査

最終報告書

2020年11月2日

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

株式会社アンド・ディ

受験意向者数・入学意向者数【資料2】

▶回答者全体3384人のうち

- 大学・短期大学・専門学校への進学希望者は **2977人** 全体の88.0%
- 大学への進学希望者は **2538人** 全体の75.0%

※大学＝大学(4年制・6年制)＋専門職大学(4年制・6年制)

▶『公立化した徳山大学』の受験意向は…

- 進学希望者のうち、新学部学科のいずれかについて

「受験意向あり・計（受験したい＋検討してもよい）」 **1678人** 全体の46.6%

▶『公立化した徳山大学』への入学意向は…

- 受験意向あり・計のうち、『公立化した徳山大学』の新学部学科のいずれかについて

「入学したい」 **565人** 全体の16.7%

- いずれの学部学科についても、「入学したい」とする人数が予定の定員数を大きく上回る
- 大学進学希望者に限定した場合でも、「入学したい」人数は予定の定員数を十分に上回る

【新学部学科】 受験意向×入学意向		経済経営学部 経済経営学科	情報科学部 情報科学科	人間健康科学部 スポーツ健康科学科	人間健康科学部 看護学科	人間健康科学部 福祉学科	新学部学科 いずれか 意向あり
		▼ (n=2977)	▼ (n=2977)	▼ (n=2977)	▼ (n=2977)	▼ (n=2977)	▼
進学希望者	受験意向あり・計	782人	583人	642人	661人	585人	1,678人
	上記のうち「入学したい」	204人	122人	175人	213人	143人	565人
	上記のうち「入学したい・計」	696人	512人	567人	593人	513人	1,516人
		(n=2537)	(n=2537)	(n=2537)	(n=2537)	(n=2537)	
大学進学 希望者	受験意向あり・計	688人	494人	526人	530人	464人	1,425人
	上記のうち「入学したい」	180人	104人	135人	169人	103人	457人
	上記のうち「入学したい・計」	613人	430人	462人	475人	402人	1,280人
入学したい・計＝入学したい＋入学を検討		定員数 160	50	80	80	30	

【現学部学科】 受験意向×入学意向		経済学部 現代経済学科	経済学部 ビジネス戦略学科 経営コース	経済学部 ビジネス戦略学科 知財開発コース	経済学部 ビジネス戦略学科 スポーツマネジメントコース	福祉情報学部 人間コミュニケーション学科	現学部学科 いずれか 意向あり
		▼ (n=2977)	▼ (n=2977)	▼ (n=2977)	▼ (n=2977)	▼ (n=2977)	
進学希望者	受験意向あり・計	639人	557人	407人	495人	590人	1,128人
	上記のうち「入学したい」	134人	101人	71人	110人	116人	297人
	上記のうち「入学したい・計」	587人	502人	370人	458人	525人	1,025人
		(n=2537)	(n=2537)	(n=2537)	(n=2537)	(n=2537)	
大学進学 希望者	受験意向あり・計	571人	473人	352人	406人	480人	949人
	上記のうち「入学したい」	122人	80人	60人	87人	83人	237人
	上記のうち「入学したい・計」	524人	427人	321人	373人	426人	859人
入学したい・計＝入学したい＋入学を検討		定員数 80	50	20	80	50	

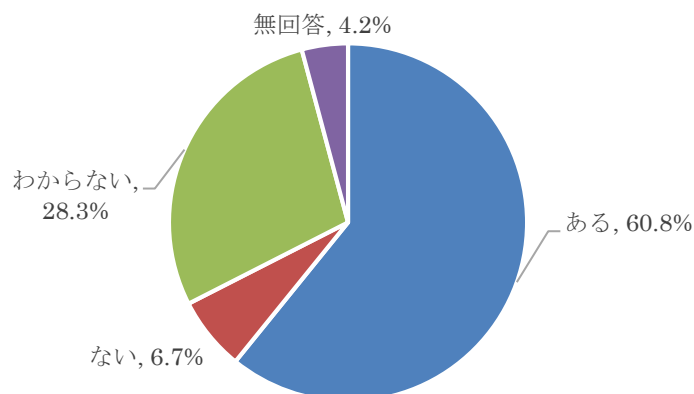
徳山大学公立化の検討に係る事業所等アンケート
調査結果

周南市 企画部 企画課 公立大学推進室

令和2年10月

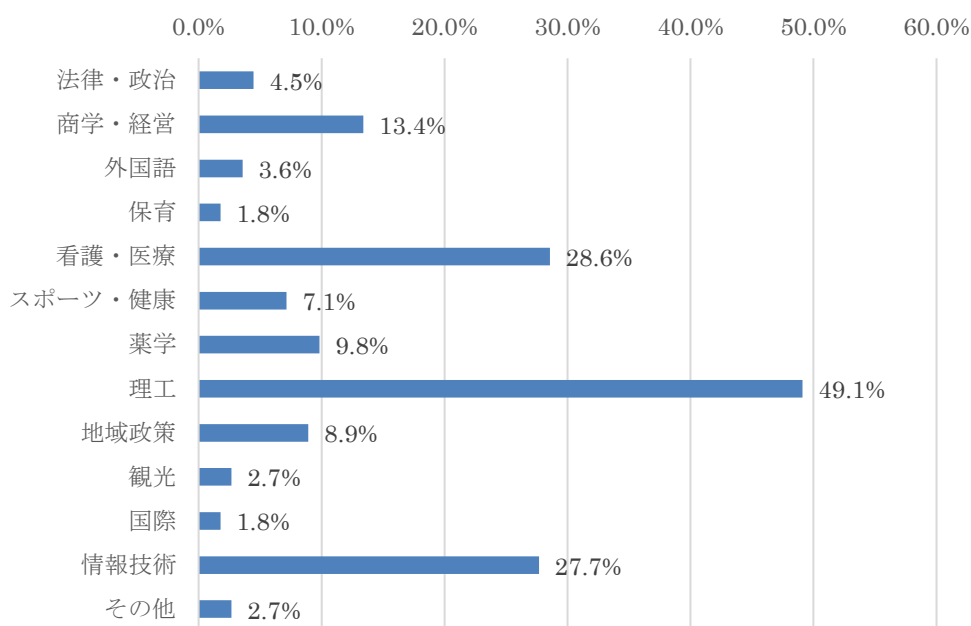
問 1 1. 公立化にあたり、若者の地元定着や地域産業の発展のため、新たな学部学科を設置する必要はありますか。※現在は経済学部と福祉情報学部があります。 (n=120)

事業所に「新たな学部学科設置の必要があるか」伺ったところ、「ある」が 60.8%と最も多く、次いで「わからない」が 28.3%、「ない」が 6.7%、と続いている。



問 1 2. 公立化にあたり、新たな学部学科を設置する場合、周南市にとってどのような学部が必要と考えられますか。※2 つまで回答可 (n=112)

事業所に「新たな学部学科を設置する場合、周南市にとってどのような学部が必要か」伺ったところ、「理工」が 49.1%と最も多く、次いで「看護・医療」が 28.6%、「情報技術」が 27.7%、「商学・経営」が 13.4%と続いている。



まち・ひと・しごと創生基本方針2019について

令和元年 6 月

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局
内閣府地方創生推進事務局

第2期(2020年度～2024年度)においては、4つの基本目標に向けた取組を実施するに当たり、新たな次の視点に重点を置いて施策を推進する。

(1) 地方へのひと・資金の流れを強化する

- ◆将来的な地方移住にもつながる「関係人口」の創出・拡大。
- ◆企業や個人による地方への寄附・投資等を用いた地方への資金の流れの強化。

(2) 新しい時代の流れを力にする

- ◆Society5.0の実現に向けた技術の活用。
- ◆SDGsを原動力とした地方創生。
- ◆「地方から世界へ」。

(3) 人材を育て活かす

- ◆地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、掘り起こしや育成、活躍を支援。

(4) 民間と協働する

- ◆地方公共団体に加え、NPOなどの地域づくりを担う組織や企業と連携。

(5) 誰もが活躍できる地域社会をつくる

- ◆女性、高齢者、障害者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現。

(6) 地域経営の視点で取り組む

- ◆地域の経済社会構造全体を俯瞰して地域をマネジメント。

2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン
(答申)

平成 30 年 11 月 26 日
中 央 教 育 審 議 会

社会のあらゆる分野でのつながりが国境を越えて活性化¹²しており、人材の流動化、人材獲得競争などグローバル競争の激化が予想される。

（地方創生が目指す社会）

我が国の総人口は、平成 20（2008）年の 1 億 2,808 万人をピークに減少し始めており、国立社会保障・人口問題研究所の出生中位・死亡中位推計（平成 29 年推計）によれば、2040 年には 1 億 1,092 万人となる。出生数は、年間 100 万人を下回っており、平成 29（2017）年には 94 万人まで減少し、2040 年には 74 万人程度になると見込まれている。高齢化は、三大都市圏を中心に急速に進行し、平成 27（2015）年に 3,387 万人であった高齢者人口（65 歳以上）は、2042 年に 3,935 万人（高齢化率 36.1%）でピークを迎える見込みである¹³。

他方、AI、IoT 技術、ビッグデータの活用により、産業・社会構造が資本集約型から知識集約型にシフトしつつある。このことは、地方の産業にとっては、その地域の中で生産性の向上、高付加価値化が可能となるということであり、都市ではなく地域が産業の拠点となる可能性も高まるとも言える。農業、医療・ヘルスケア、防災、インフラの維持管理など第 1 次産業分野から第 3 次産業分野まであらゆる産業分野でデータ活用による高付加価値化が進むことにより、全国各地において地方のポテンシャルを引き出すことが期待される。地方創生が実現すべき社会は、「個人の価値観を尊重する生活環境を提供できる社会」である。都市に出なければ教育機関や働く場所がないということではなく、生まれ育った地域で、個人の価値観を尊重して生活し、その地域を豊かなものにしていくための継続的な営みができる社会の実現が期待される。

3. 2040 年を見据えた高等教育と社会の関係

ここまで、2040 年に求められる人材像と高等教育の目指すべき姿、それらのベースとなる社会変化の方向について述べてきたが、ここでは、それらを踏まえた高等教育と社会の関係について整理する。

¹² 「在留外国人統計」（法務省）によると、我が国の在留外国人数は平成 24（2012）年に約 203 万人であったのに対し、平成 29（2017）年には約 256 万人となっている。また、「海外在留邦人数調査統計」（外務省）によると、海外在留邦人数については、平成 24（2012）年に約 125 万人であったのに対し、平成 28（2016）年には約 134 万人となっている。また、「ジェトロ世界貿易投資報告」（平成 29 年版）によると、平成 28（2016）年度の日本企業の海外売上高比率は 56.5% であり、拡大傾向にある。さらに、「平成 28 年外資系企業動向調査」（経済産業省）によると、日本での今後の事業展開について、「事業の拡大を図る」と回答した企業は 55.5% である。

¹³ 「自治体戦略 2040 構想研究会第一次報告～人口減少化において満足度の高い人生と人間を尊重する社会をどう構築するか～」（自治体戦略 2040 構想研究会 平成 30 年 4 月）

■http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/jichitai2040/index.html

（大学をはじめとした高等教育と社会との関係）

大学は、教育と研究を一体不可分のものとして人材育成と研究活動を行っており、そのための組織が整備され、ガバナンスが機能し、資源配分が行われることで、「知識の共通基盤」として社会を支えている。その活動が、現在の社会を支え、また未来の社会を創出するために貢献していくことは重要であり、そのためには、教育と研究を通じた活動を社会に発信し、透明性確保と説明責任を果たしていくことが必要である。

「学問の自由（Academic Freedom）」及び「大学の自治」とは、大学における学問の研究とその結果の発表及び教授が自由かつ民主的に行われることを保障するため、教育研究に関する大学の自主性を尊重する制度と慣行であり、国際的にも高等教育の根幹を支える概念となっている。つまり、憲法で保障されている「学問の自由」は大学と教員・研究者に蓄積された知識に基づいた研究と、その結果の発表と教授の自由であり、「大学の自治」は、これらの自由を保障するためのものである。教育研究の自由が保障されていることが、新しい「知」を生み出し、国力の源泉となる根幹を支えていることを再確認しておく必要がある。実際、我が国の研究論文の約7割を大学が占めており、また、例えばノーベル賞等の世界的な研究に関する賞の受賞者は大学の研究者が圧倒的な割合を占めている。これらは、学生と教員を擁している大学が、自由な発想をその源泉とし、教育研究を一体不可分のものとして人材育成と研究活動を行っているという仕組みに負うところが大きい。

その上で、高等教育は、我が国のみならず世界が抱える課題に教育と研究を通じて真摯に向き合い、新たな社会・経済システム等の提案をしていくこと、その成果を社会に還元することを通じて、社会からの評価と支援を得るという好循環を形成することにより、「知識の共通基盤」から更に進んで「知と人材の集積拠点」としての機能を継続的に発展させていくことが重要である。その際、知識集約型社会への転換によって、知や情報が経済的な価値の源泉となることで、知の拠点である大学そのものが産業を支える基盤になることが期待される。

そのためにも、高等教育システムそのもの、そして、高等教育機関の「建学の精神」や「ミッション」は時代の変化の中で、変わるべきものと変わらないものがあることを高等教育機関とその構成員が改めて意識し、高等教育機関自らが、「建学の精神」や「ミッション」、教育研究についての説明責任を果たしていくこと、さらにはその「強み」と「特色」を社会に分かりやすく発信していくことが重要である。

（研究力の強化と社会との関係）

多様で卓越した新しい「知」は、未知のものへ挑戦する全ての学術研究の中で生み出され、第5期科学技術基本計画等で目指しているイノベーションの創出や科学技術の発展に大きく資するものであり、学術研究の成果を社会的・経済的価値の創造に結び付け、社会からのニ

ーズに对应していくことは高等教育の役割の一つである。他方、新興国が成長し先進諸国間でも国際競争が激しくなる中で、論文数や論文の引用状況から見た日本の地位は相対的に低下傾向にあり、日本の存在感が薄れてきている。大学の研究力を引き上げるとともに、先端的な研究を推進することにより、イノベーションを創出していくことが重要である。

また、高等教育機関における学術研究は、専門化・細分化された分野の中だけで収まらない学際的・学融合的な研究が進められるようになっている。知識や技術の全てを個人や一つの組織で生み出すことが困難な時代になっており、新たな知識や価値の創出に多様な専門性を持つ人材が結集し、チームとして活動することの重要性がますます高まっている。学術研究の成果もまた、社会に還元することを通じて、社会からの評価と支援を得るという好循環を形成していくことが必要である。

なお、一概に研究といっても、その成果は多方面にわたる。科学技術との関連や、政策形成への貢献といった直接的な関係性の強いものだけではなく、例えば、社会発展や世界平和への貢献の基礎となる知見の集積や、個人の生活や内省につながる知的探求等は、本来、大学が担うべき重要な社会的な機能である。

（産業界との協力・連携）

新卒一括採用や年功序列などのこれまでの雇用慣行を見直す動きが見え始めている中、これらの動きは、高等教育の変化の大きな後押しになる。通年採用導入による、ポテンシャル採用からジョブ型採用への転換や、大学教育の質と学修成果を活用した採用活動の拡大などは、産業界が取り組んでいくべき課題である。労働集約型経済から知識集約型経済への転換を真剣に考えていく際に、高等教育と産業界等との協力関係は欠かせない。経済・社会の発展をもたらす高等教育の在り方について、人材を育成する側と人材を活用する側で議論と理解を深めていく必要がある。

その際、今後更に重要性の増すリカレント教育については、知識の最新化や新たな知識を学ぶことのみならず、多様な学生が相互に学び合うことを実現するために、産業界の雇用の在り方、働き方改革と、高等教育が提供する学びのマッチングが必要不可欠である。また、大学内外の資源を有効活用していくことは重要であり、ガバナンスにおいても、教育研究を充実する際にも、学外の協力を得ていくための産業界等との協力関係、連携関係を充実していく必要がある。

さらに、大学と社会の接続を考える際には、学修者が自らを社会の一員として自覚し、自らの学びの社会的意味を理解し、学修の質を向上させる機会としての「インターンシップ」の充実等が求められる。また、学修者が複数の大学間や企業間、大学と企業の間などを行き来しながら、時間をかけて複線型にキャリアを形成していくことが可能となるためには、大

学と産業界共に今まで以上に流動性を高めていくことが重要である。これらの観点から、海外などで見られる大学での学修と企業での勤務を両立させるような学び方を検討することも必要¹⁴である。

（地域との連携）

「個人の価値観を尊重する生活環境を提供できる社会」とは、各人が望む地域で、自らの価値観を大切にして生活していくことができる社会であり、地域に住む人自らがその環境を維持し、その価値を創造していくものである。

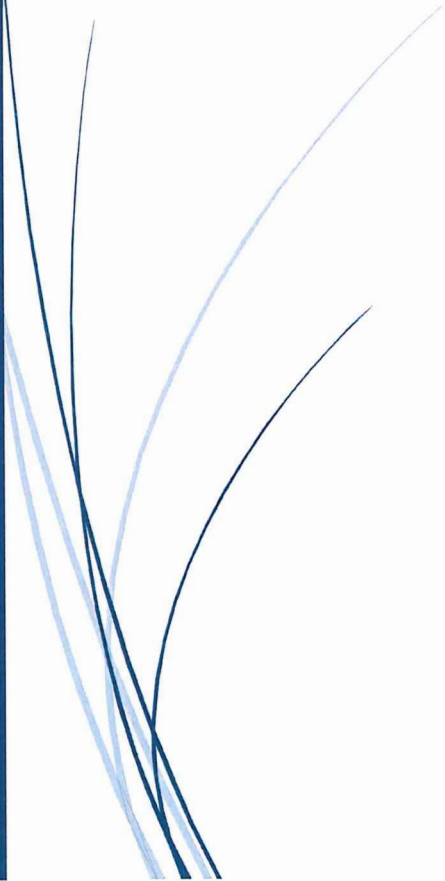
人口減少下においてそのような社会を実現するためには、地方の産業における生産性の向上、高付加価値化のみならず、公共交通や教育機関、医療機関の提供、労働力の確保等、地域全体の維持・発展が必要である。そのいずれにおいても、高等教育が果たす役割は重要であり、知的な蓄積のある教員の存在や人材の育成、教育研究成果を活用した産学連携等により、地域の教育・医療・インフラ・防災・産業等を支えている。

また、高等教育機関、特に大学の自発的な研究機能は、教育機能とともに、地方創生にとって極めて重要な役割を担っている。それぞれの地域の社会、経済、文化の活性化のソースや、特色・誇りの源泉であるとともに、地元産業や新規の企業立地における好条件となり、更には地域における国際交流の推進、国際化への対応への直接的な拠点ともなる。

なお、特にリカレント教育においては、介護福祉や保育等、地域特有のニーズも数多く存在し、地方公共団体と高等教育機関が、十分に連携して進める必要がある。

¹⁴ 英国では、主に 18～19 歳の若者が企業で働きながら学位を取得できる制度(ディグリー・アプレンティスシップ=Degree Apprenticeships)を 60 以上の大学が企業と共同で設計し、目的意識を持って主体的に学ぶ学生を育成している。本制度は、2015 年より現英国政権の重点施策となっており、学費の 3 分の 2 は政府が補助し、残りの 3 分の 1 は企業が拠出する。

地域連携プラットフォーム構築に関するガイドライン
～地域に貢献し、地域に支持される高等教育へ～



令和2年10月
文部科学省高等教育局

第1章 地域連携プラットフォームの必要性和意義

(1) 地域連携プラットフォームの必要性

【時代の変化へ対応】

大学等は地域社会において活躍する人材を育成するのみならず、地域経済・地域社会を支える基盤としても重要な様々な機能を持つ存在です。これらの機能を十分に果たしていくためには、地域社会でどのような人材が必要なのか、地域社会は大学等の教育研究機能に何を求めているのか、大学等は地域社会に対してどのような貢献ができるのかについて、恒常的に情報を把握・共有し、地域社会を構成する関係者間で真剣に考えることが必要です。

とりわけ、各地域においては、人口減少、高齢化、産業構造の変化、グローバル化、地方創生、一極集中型から遠隔分散型への転換といった劇的な変化の中で、Society 5.0 時代を担う人材育成に向けて、教育界、行政、産業界等が多面的な連携に基づき、地域社会のニーズを踏まえた質の高い高等教育機会の確保と高い能力をもった人材育成に取り組むことが今以上に問われてくるものと考えられます。

この先、我が国の人口は減り続けるという事実と正面から向き合い、地域を支える大学等、地方公共団体、産業界等がどのような行動を起こすべきかを話し合い、対策を講じていくことが必要です。また、地域の課題は非常に複雑で困難なものも多く、また絶えず変化していくものです。もはや、それぞれの立場からのみで地域課題の解決やイノベーションを創出することは限界になっていると考えられます。

また、大学等は地域と共に発展していく存在でもあり、地域の興亡は大学等の将来に大きな影響をもたらすことが考えられます。そして、Society 5.0 に向けて新しい産業を創出し、地域社会を豊かなものに変えていく好機と捉えて取り組む姿勢も重要であり、それが大学等の発展につながるものと考えられます。

例えば、地域の大学等と産業界が連携を強化することで、AI やビッグデータ等の技術革新を最大限活用してイノベーションを起こし、それぞれが抱える課題解決を図り、新たな価値や産業を生み出す可能性³や、大学キャンパス全体をそのための共創拠点（イノベーション・コモンズ）⁴として活用することが期待されています。

³ 「Society 5.0 に向けた大学教育と採用に関する考え方」（2020 年 3 月 31 日採用と大学教育の未来に関する産学協議会・報告書）

⁴ 「イノベーション・コモンズ」とは、ソフト・ハードの取組が一体となり、あらゆる分野、あらゆる場面で、あらゆるプレイヤーが共創できる拠点（「次期国立大学法人等施設整備計画策定に向けた中間まとめ」（令和 2 年 7 月今後の国立大学法人等施設の整備充実に関する調査研究協力者会議））

第2期周南市

**まち・ひと・しごと創生
総合戦略**

〔令和3年度改訂版〕

令和4年3月
周 南 市

推進施策

（４）高等教育機関等との連携

周南公立大学や徳山工業高等専門学校をはじめとした高等教育機関等やそこで学ぶ学生は、本市にとってかけがえのない財産であり、持続可能なまちづくりを進めていくためには、そうした意欲と能力のある若者が地域において活躍できるような仕組みが必要です。

こうしたことから市内の高等学校や高等教育機関、行政機関、企業等が連携し、地域産業を担う人材の育成をはじめ、魅力ある就業先や雇用の創出などに取り組み、若者の地元就職率の向上を図るとともに、市内高等教育機関等の持続的な発展を支援します。

また、地元の人材を育成し、地元が求める人材として還元していく地域人材循環構造を確立するなど、活力ある人材の育成や若者の一層の地元定着や多様化する政策課題の解決を図ることを目的とし、周南公立大学との政策連携の強化に取り組みます。



重要業績評価指標（KPI）	現状（R1 年度）	目標（R6 年度）
市内の高等教育機関を卒業し、就職した学生の市内就職率（年間）	14% (H31年4月1日～R2年3月31日)	21%

主な取組

①教育機関との連携強化

具体的な取組内容

●三者（周南市・周南公立大学・徳山高専）連携等の強化

平成18（2006）年度に地域社会の発展と人材の育成に寄与することを目的として協定を締結した三者連携の取組をさらに強化するとともに、県内高等教育機関や地域産業界とも様々な形で連携・協働しながら、学生の地元就職率の向上を図ります。

●高等学校におけるコミュニティ・スクールの推進

県は、令和2（2020）年度までに県内の全高等学校にコミュニティ・スクールを導入することとしており、本市においても市内高等学校の学校運営協議会に積極的に参画し、高校やPTA、企業などと連携しながら、学生の地域への愛着を育むとともに地域の活性化を図ります。

●PBL（project based learning）の推進

教育機関と企業や行政が連携し、学生が主体的に学びながら地域の課題解決に向けたプロジェクトを企画・実践する教育プログラムであるPBLに県内大学と取り組みます。

具体的な取組内容	R2	R3	R4	R5	R6
三者（周南市・周南公立大学・徳山高専）連携等の強化					
高等学校におけるコミュニティ・スクールの推進					
PBLの推進					

主な取組 ②地元企業が求める人材の育成

具体的な取組内容

- 市内企業インターンシップ事業の推進（再掲）
山口県インターンシップ推進協議会と連携し、市内企業のインターンシップ事業実施を推進します。
- 徳山大学公立化の検討
地域人材循環構造の確立を目指し、徳山大学の公立化について、高校生の進学ニーズや企業の採用ニーズの把握、学部学科の改編、市との政策連携についての可能性、また市財政への影響などについて、外部有識者の意見も取り入れながら、総合的に検討します。
- 周南公立大学との政策連携強化 **新**
地域貢献型大学をめざす周南公立大学と市との政策連携を強化し、大学を「地域の成長エンジン」とした地方創生、地域人材循環構造の確立、若者によるまちの賑わいの創出を実現するため、大学を生かしたまちづくりをさらに進めます。

具体的な取組内容	R2	R3	R4	R5	R6
市内企業インターンシップ事業の推進（再掲）	→				
徳山大学公立化の検討	→	→			
周南公立大学との政策連携強化			→	→	→

周南公立大学 御中

周南公立大学 新設学部設置構想についてのアンケート調査

高校生アンケート ご報告書

2022 年 12 月 16 日
株式会社高等教育総合研究所

目 次

設置構想についてのアンケート調査概要.....	3
学生確保の見通しについての考察.....	4
調査結果について	5
全体集計結果.....	12
【資料】 アンケート調査用紙.....	16
【資料】 学部学科概要	19

設置構想についてのアンケート調査概要

目 的	周南公立大学が令和 6（2024）年 4 月に設置を構想している 3 学部 5 学科（以下の別表 1）について、本アンケート調査により学生確保の見通しを測ることを目的とする。
対 象	周南公立大学既存学部への志願状況、学力水準および所在地等を踏まえて、調査対象高校を選定した。アンケート対象者は令和 6（2024）年に大学入試を受験する可能性が最も高い、令和 4（2022）年度現在の高校 2 年生とした。
時 期	令和 4 年 10 月～12 月
調 査 方 法	各校の教職員の監督の元で、アンケート用紙と学部学科概要を配布し、調査を実施。
調 査 内 容	選択肢式の 10 問。 回答者の基本情報（居住地、性別、希望進路）、周南公立大学が設置構想中の 3 学部 5 学科への受験・入学意志等。
回 収 件 数	116 校 15,783 件

<別表 1>

学部名	学科名
経済経営学部	経済経営学科
人間健康科学部	スポーツ健康科学科
	看護学科
	福祉学科
情報科学部	情報科学科

※学部学科名称はいずれも仮称である。

学生確保の見通しについての考察

周南公立大学が構想する新設学部への進学意向では、いずれかの学部学科へ「受験したい」が6,009人、「入学したい」が1,325人、「入学するか検討したい」が4,608人となっている。

学部学科ごとの集計値は以下の通り。いずれの学部学科も全て予定する入学定員を上回る入学意欲が集まっている。

問7、問8の集計結果より	入学定員	受験したい	入学したい	入学を検討
経済経営学部「経済経営学科」	160名	2,039人	460人	1,556人
人間健康科学部「スポーツ健康科学科」	80名	1,140人	257人	865人
人間健康科学部「看護学科」	80名	1,256人	301人	937人
人間健康科学部「福祉学科」	60名	556人	121人	425人
情報科学部「情報科学科」	100名	1,018人	186人	825人
合計		6,009人	1,325人	4,608人

※学部学科名称は全て仮称

また、問3の高校卒業後の希望進路で「進学」を選択した14,179件と、上記の件数とのクロス集計の結果は以下の表の通りである。

問3、問7、問8の集計結果より	入学定員	受験したい	入学したい	入学を検討
経済経営学部「経済経営学科」	160名	1,866人	408人	1,438人
人間健康科学部「スポーツ健康科学科」	80名	987人	220人	751人
人間健康科学部「看護学科」	80名	1,208人	280人	911人
人間健康科学部「福祉学科」	60名	507人	110人	387人
情報科学部「情報科学科」	100名	910人	157人	746人
合計		5,478人	1,175人	4,233人

※学部学科名称は全て仮称

「進学」、とのクロス集計の結果、各学部学科の「入学したい」の人数は予定する入学定員の経済経営学部「経済経営学科（仮称）」は2.6倍、人間健康科学部の「スポーツ健康科学科（仮称）」は2.8倍、「看護学科（仮称）」は3.5倍、「福祉学科（仮称）」は1.8倍、情報科学部「情報科学科（仮称）」は1.6倍となっている。

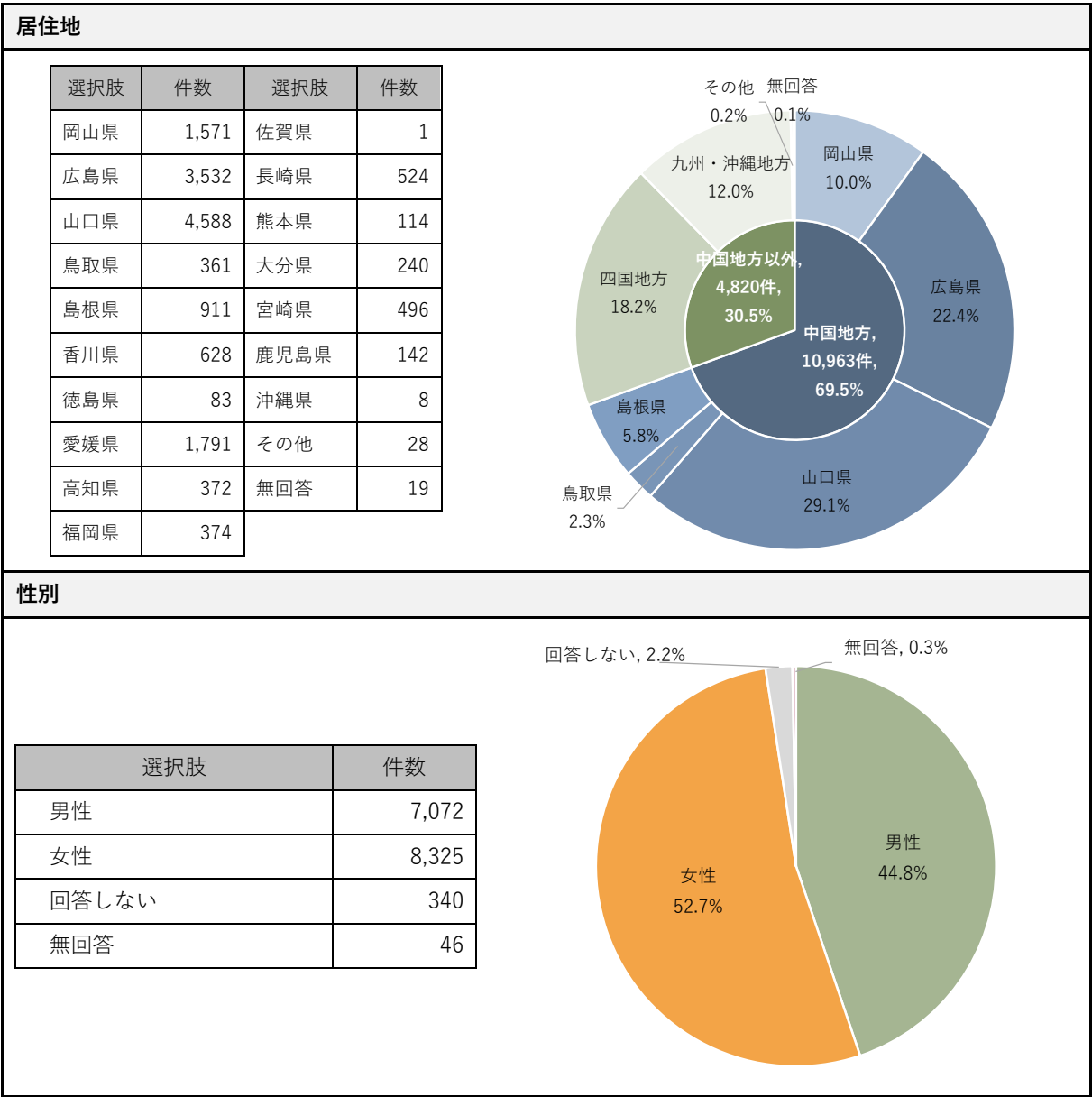
以上の結果より、周南公立大学が2024（令和6）年4月に設置構想するいずれの学部学科も、予定する入学定員を上回る結果となっているため、新設学部学科の学生確保については、十分可能であると考えられる。

調査結果について

① 回答者の基本情報（居住地、性別）-問 1、問 2

回答者の居住地は、周南公立大学の所在地である「山口県」が 4,588 件（29.1%）で最も多く、「広島県」が 3,532 件（22.4%）、「岡山県」が 1,571 件（10.0%）と続いている。それらを含む中国地方の居住者が 7 割近い結果となっている。

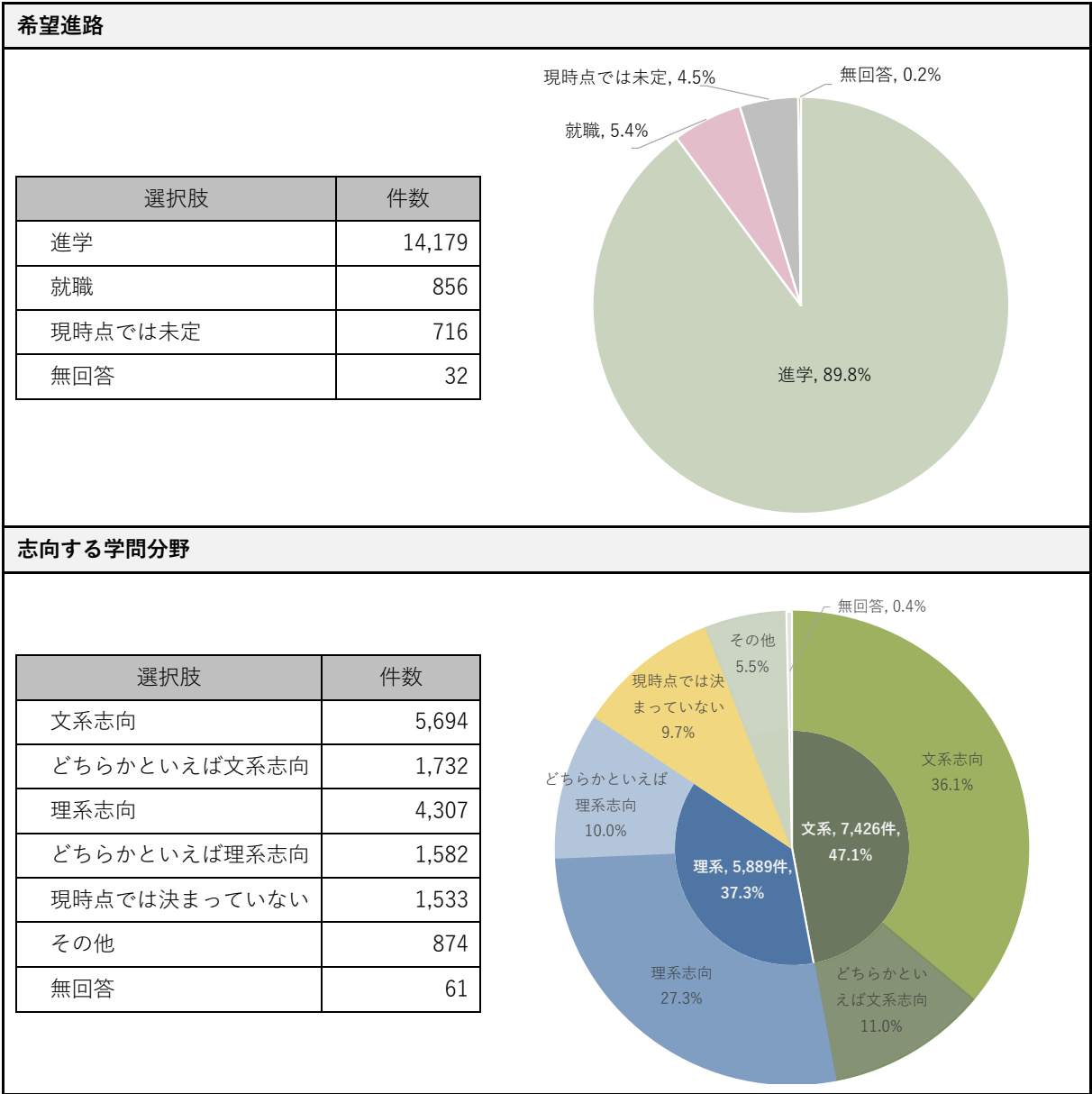
回答者の性別は「男性」が 7,072 件（44.8%）、「女性」が 8,325 件（52.7%）、「回答しない」が 340 件（2.2%）で、「女性」の方が「男性」よりも多くなっている。



② 回答者の希望進路、学問分野など-問3、問4

回答者が高校卒業後に希望する進路は、「進学」が14,179件（89.8%）で約9割となっており、「就職」が856件（5.4%）、「現時点では未定」が716件（4.5%）と続いている。

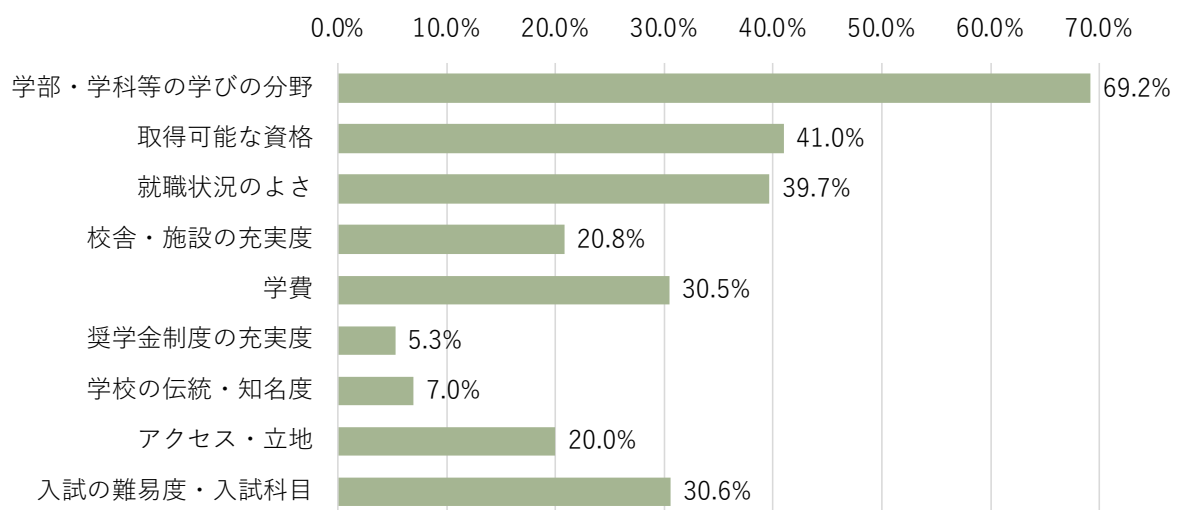
回答者の志向する学問分野は、「文系志向」と「どちらかといえば文系志向」の合計が、7,426件（47.1%）、「理系志向」と「どちらかといえば理系志向」の合計が、5,889件（37.3%）となり、文系分野が理系分野よりも多くなっている。



③ 進学先の学部学科等を決定する際に重視すること-問5

回答者に進学先の学部学科等を決定する際に重視することを質問したところ、「学部・学科等の学びの分野」が10,919件(69.2%)で最も多く、「取得可能な資格」が6,472件(41.0%)、「就職状況のよさ」が6,269件(39.7%)と続いている。

選択肢	件数
学部・学科等の学びの分野	10,919
取得可能な資格	6,472
就職状況のよさ	6,269
校舎・施設の充実度	3,289
学費	4,812
奨学金制度の充実度	833
学校の伝統・知名度	1,098
アクセス・立地	3,159
入試の難易度・入試科目	4,828

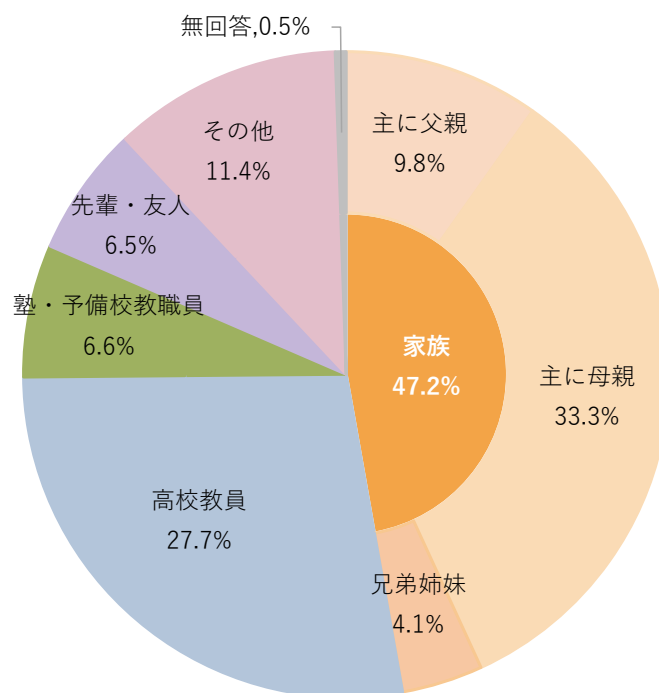


④ 志望校選びの際に誰の意見を参考にするか-問6

回答者に志望校選びの際に誰の意見を参考にするかと質問したところ、「主に母親」が5,260件（33.3%）で最も多く、ついで「高校教員」が4,366件（27.7%）である。

回答者の家族である父母や兄弟姉妹の意見を参考にと回答した者の合計が、7,450件（47.2%）と約半数を占める結果となっている。

選択肢	件数
主に父親	1,549
主に母親	5,260
兄弟姉妹	641
高校教員	4,366
塾・予備校教職員	1,048
先輩・友人	1,027
その他	1,806
無回答	86

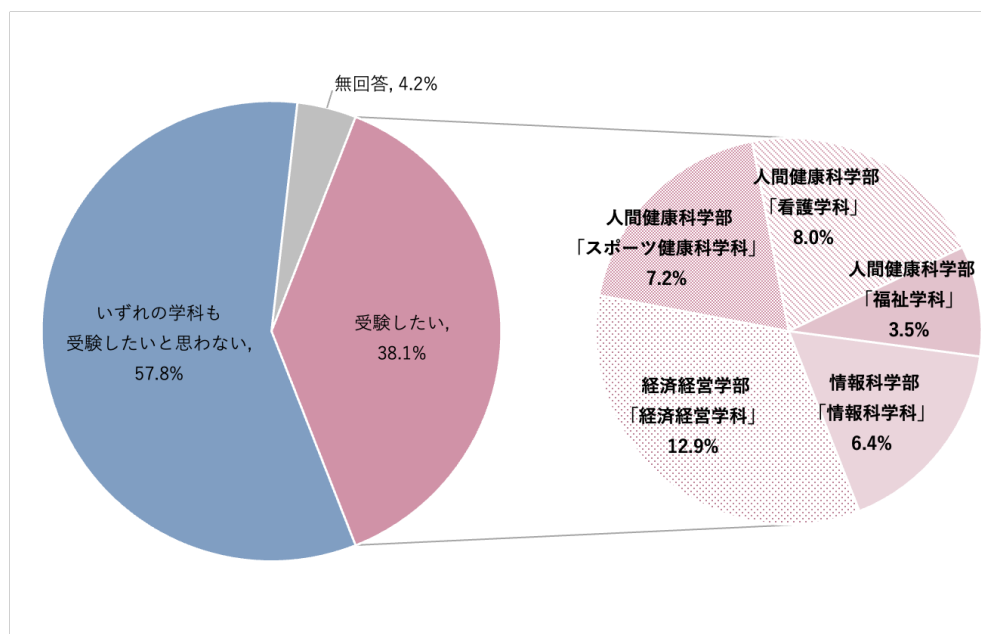


⑤ 新設学部学科への受験意向-問7

回答者の新設学部学科への受験意向は、経済学部「経済経営学科（仮称）」が2,039件（12.9%）と最も多く、人間健康科学部「看護学科（仮称）」が1,256件（同8.0%）、「人間健康科学部「スポーツ健康科学科（仮称）」が1,140件（同7.2%）、情報科学部「情報科学科（仮称）」が1,018件（同6.4%）、人間健康科学部「福祉学科（仮称）」が556件（3.5%）である。

新設学部学科のいずれかを「受験したい」とする者の合計は、6,009件（全体の38.1%）であった。

選択肢	件数
経済経営学部「経済経営学科（仮称）」を受験したい	2,039
人間健康科学部「スポーツ健康科学科（仮称）」を受験したい	1,140
人間健康科学部「看護学科（仮称）」を受験したい	1,256
人間健康科学部「福祉学科（仮称）」を受験したい	556
情報科学部「情報科学科（仮称）」を受験したい	1,018
いずれの学科も受験したいと思わない	9,117
無回答	657



※学部学科名称は全て仮称

⑥ 新設学部学科への入学意向-問8

回答者の周南公立大学が構想する新設学部学科を受験したいと回答した者の入学意向は、「入学したい」が1,325人、「入学するか検討したい」が4,608人となっている。

新設学部学科への受験・入学意向の内訳は以下の通りである。

問7、問8の集計結果より	入学定員	受験したい	入学したい	入学を検討
経済経営学部「経済経営学科」	160名	2,039人	460人	1,556人
人間健康科学部「スポーツ健康科学科」	80名	1,140人	257人	865人
人間健康科学部「看護学科」	80名	1,256人	301人	937人
人間健康科学部「福祉学科」	60名	556人	121人	425人
情報科学部「情報科学科」	100名	1,018人	186人	825人
合計		6,009人	1,325人	4,608人

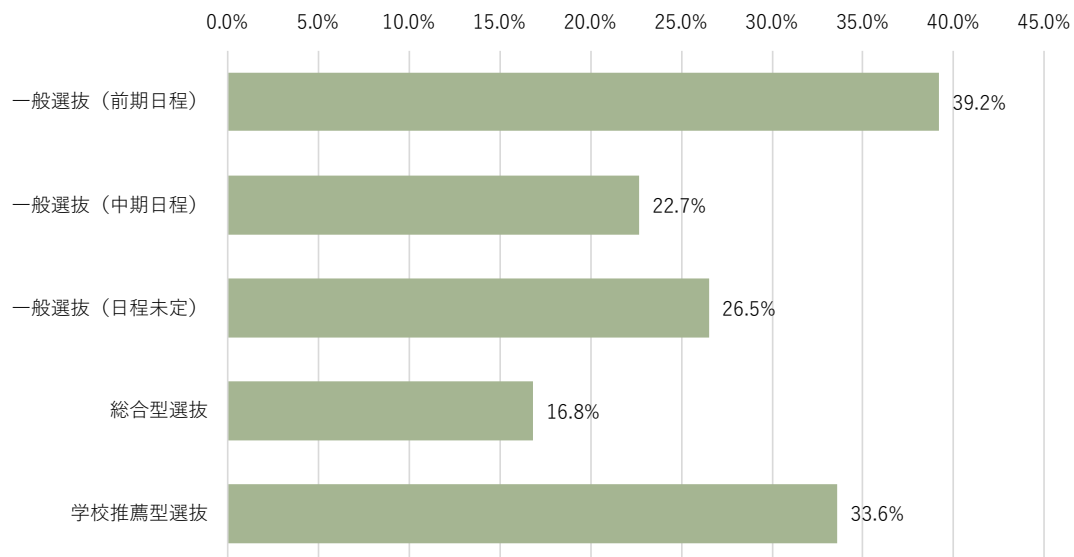
※学部学科名称は全て仮称

上表の通り、周南公立大学が構想する新設学部学科に「入学したい」と回答した件数は、各学部学科とも入学定員を上回る結果となっている。

⑥ 受験の際に利用したい入試方法-問9

周南公立大学の新設学部学科を「受験したい」と回答した 6,009 件に対し、受験の際に利用したい入試方法について質問したところ、「一般選抜（前期日程）」が 2,356 件（39.2%）で最も高く、「学校推薦型選抜」が 2,019 件（33.6%）と続いている。

選択肢	件数
一般選抜（前期日程）	2,356
一般選抜（中期日程）	1,363
一般選抜（日程未定）	1,594
総合型選抜	1,012
学校推薦型選抜	2,019



全体集計結果

※パーセンテージはいずれも、小数点第2位を四捨五入し記載。

問1 あなたが現在お住まいの地域について教えてください（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
岡山県	1,571	10.0%
広島県	3,532	22.4%
山口県	4,588	29.1%
鳥取県	361	2.3%
島根県	911	5.8%
香川県	628	4.0%
徳島県	83	0.5%
愛媛県	1,791	11.3%
高知県	372	2.4%
福岡県	374	2.4%
佐賀県	1	0.0%
長崎県	524	3.3%
熊本県	114	0.7%
大分県	240	1.5%
宮崎県	496	3.1%
鹿児島県	142	0.9%
沖縄県	8	0.1%
その他	28	0.2%
無回答	19	0.1%
合計	15,783	100.0%

問2 性別をお答えください（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
男性	7,072	44.8%
女性	8,325	52.7%
回答しない	340	2.2%
無回答	46	0.3%
合計	15,783	100.0%

問3 高校卒業後の希望進路をお答えください。（現時点であてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
進学	14,179	89.8%
就職	856	5.4%
現時点では未定	716	4.5%
無回答	32	0.2%
合計	15,783	100.0%

問4 あなたが志向する学問分野について教えてください（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
文系志向	5,694	36.1%
どちらかといえば文系志向	1,732	11.0%
理系志向	4,307	27.3%
どちらかといえば理系志向	1,582	10.0%
現時点では決まっていない	1,533	9.7%
その他	874	5.5%
無回答	61	0.4%
合計	15,783	100.0%

問5 あなたが進学先の学部学科等を決定する際に重視することについて教えてください（あてはまるもの3つにマーク）

選択肢	件数	回答率
学部・学科等の学びの分野	10,919	69.2%
取得可能な資格	6,472	41.0%
就職状況のよさ	6,269	39.7%
校舎・施設の充実度	3,289	20.8%
学費	4,812	30.5%
奨学金制度の充実度	833	5.3%
学校の伝統・知名度	1,098	7.0%
アクセス・立地	3,159	20.0%
入試の難易度・入試科目	4,828	30.6%

※回答率＝件数÷15,783(全回答件数)

問6 志望校選びの際に誰の意見を参考にしますか （最もあてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
主に父親	1,549	9.8%
主に母親	5,260	33.3%
兄弟姉妹	641	4.1%
高校教員	4,366	27.7%
塾・予備校教職員	1,048	6.6%
先輩・友人	1,027	6.5%
その他	1,806	11.4%
無回答	86	0.5%
合計	15,783	100.0%

問7 あなたは周南公立大学が構想中の新設学部学科のなかでどの学科を受験したいと思いますか（最もあてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
経済経営学部「経済経営学科（仮称）」を受験したい	2,039	12.9%
人間健康科学部「スポーツ健康科学科（仮称）」を受験したい	1,140	7.2%
人間健康科学部「看護学科（仮称）」を受験したい	1,256	8.0%
人間健康科学部「福祉学科（仮称）」を受験したい	556	3.5%
情報科学部「情報科学科（仮称）」を受験したい	1,018	6.4%
いずれの学科も受験したいと思わない	9,117	57.8%
無回答	657	4.2%
合計	15,783	100.0%

問8～問9は、問7で「受験したい」と回答した者が対象。

問8 あなたは問7で「受験したい」と回答した学科に合格した場合、入学したいと思いますか（最もあてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
入学したい	1,325	22.1%
入学するか検討したい	4,608	76.7%
無回答	76	1.3%
合計	6,009	100.0%

問9 受験の際に利用したい入試方法をお答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

選択肢	件数	回答率
一般選抜（前期日程）	2,356	39.2%
一般選抜（中期日程）	1,363	22.7%
一般選抜（日程未定）	1,594	26.5%
総合型選抜	1,012	16.8%
学校推薦型選抜	2,019	33.6%

※回答率＝件数÷6,009（問7で「受験したい」と回答した件数）

問10は、問7で「いずれの学科も受験したいと思わない」と回答した者が対象。

問10 あなたが問7で「いずれの学科も受験したいと思わない」と回答した理由について教えてください（あてはまるものすべてにマーク）

選択肢	件数	回答率
興味・関心のある学問分野ではないから	6,228	68.3%
興味・関心のある学問分野だが、他大学への進学を希望しているから	916	10.0%
興味・関心のある学問分野だが、新設学部学科への進学は不安だから	232	2.5%
大学名を知らないから	1,545	16.9%
通学距離が遠いから	1,047	11.5%
卒業後、進学を考えていないから	498	5.5%
その他	626	6.9%

※回答率＝件数÷9,117（問7で「いずれの学科も受験したいと思わない」と回答した件数）

【資料】 アンケート調査用紙



周南公立大学 新設学部設置構想についての高校生アンケート調査

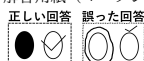
対象：2022年度 高校2年生

周南公立大学（山口県周南市）は、2024年4月に現行の2学部3学科からの改組・新設により3学部5学科の設置を構想しています。本学ではこのアンケート調査を通して、高校生の皆さんからさまざまなご意見をお伺いし、構想の参考にさせていただきたいと考えています。本アンケートから得た情報は設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。

つきましては、アンケート調査へのご協力をよろしくお願いいたします。
※このアンケート調査は周南公立大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

【アンケート記入にあたっての注意事項】

- ・記入は必ず黒鉛のシャープペンシル、または黒鉛筆を使用してください。
- ・訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
- ・解答用紙（マークシート）を汚したり、折り曲げたりしないでください。



正しい回答のように丁寧に塗りつぶしてください。誤った回答の場合、正確に読み込めず判断できない場合があります。

問1 あなたが現在お住まいの地域について教えてください（あてはまるもの1つにマーク）

- ☐ 岡山県 ☐ 広島県 ☐ 山口県 ☐ 鳥取県 ☐ 島根県 ☐ 香川県 ☐ 徳島県 ☐ 愛媛県
☐ 高知県 ☐ 福岡県 ☐ 佐賀県 ☐ 長崎県 ☐ 熊本県 ☐ 大分県 ☐ 宮崎県 ☐ 鹿児島県
☐ 沖縄県 ☐ その他（ ）

問2 性別をお答えください（あてはまるもの1つにマーク）

- ☐ 男性 ☐ 女性 ☐ 回答しない

問3 高校卒業後の希望進路をお答えください。（現時点であてはまるもの1つにマーク）

- ☐ 進学 ☐ 就職 ☐ 現時点では未定

問4 あなたが志向する学問分野について教えてください（あてはまるもの1つにマーク）

- ☐ 文系志向 ☐ どちらかといえば文系志向 ☐ 理系志向 ☐ どちらかといえば理系志向
☐ 現時点では決まっていない ☐ その他

問5 あなたが進学先の学部学科等を決定する際に重視することについて教えてください（あてはまるもの3つにマーク）

- ☐ 学部・学科等の学びの分野 ☐ 取得可能な資格 ☐ 就職状況のよさ ☐ 校舎・施設の充実度 ☐ 学費
☐ 奨学金制度の充実度 ☐ 学校の伝統・知名度 ☐ アクセス・立地 ☐ 入試の難易度・入試科目

問6 志望校選びの際に誰の意見を参考にしますか（最もあてはまるもの1つにマーク）

- ☐ 主に父親 ☐ 主に母親 ☐ 兄弟姉妹 ☐ 高校教員 ☐ 塾・予備校教職員 ☐ 先輩・友人 ☐ その他





以下の設問は、「別紙リーフレット」をご覧ください、回答をお願いします。

問 7 あなたは周南公立大学が構想中の新設学部学科のなかでどの学科を受験したいと思いますか（最もあてはまるもの1つにマーク）

- ☐ 経済経営学部「経済経営学科（仮称）」を受験したい→問8～9にお答えください
- ☐ 人間健康科学部「スポーツ健康科学科（仮称）」を受験したい→問8～9にお答えください
- ☐ 人間健康科学部「看護学科（仮称）」を受験したい→問8～9にお答えください
- ☐ 人間健康科学部「福祉学科（仮称）」を受験したい→問8～9にお答えください
- ☐ 情報科学部「情報科学科（仮称）」を受験したい→問8～9にお答えください
- ☐ いずれの学科も受験したいと思わない→問10にお答えください

問8～問9は問7で「受験したい」と回答された方にお尋ねします。

問 8 あなたは問7で「受験したい」と回答した学科に合格した場合、入学したいと思いますか（最もあてはまるもの1つにマーク）

- ☐ 入学したい ☐ 入学するか検討したい

問 9 受験の際に利用したい入試方法をお答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

- ☐ 一般選抜（前期日程） ☐ 一般選抜（中期日程） ☐ 一般選抜（日程未定） ☐ 総合型選抜
- ☐ 学校推薦型選抜

※問10は、問7で「いずれの学科も受験したいと思わない」と回答された方にお尋ねします。

問 10 あなたが問7で「いずれの学科も受験したいと思わない」と回答した理由について教えてください（あてはまるものすべてにマーク）

- ☐ 興味・関心のある学問分野ではないから
- ☐ 興味・関心のある学問分野だが、他大学への進学を希望しているから（大学名 ）
- ☐ 興味・関心のある学問分野だが、新設学部学科への進学は不安だから
- ☐ 大学名を知らないから
- ☐ 通学距離が遠いから
- ☐ 卒業後、進学を考えていないから
- ☐ その他

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。



【資料】学部学科概要

地域の成長エンジンとして
社会が求める人材を常に意識し
生涯に渡って活かせる学びを提供します



2022年4月に
開学しました！
(旧徳山大学)

周南公立大学は 新しい学部学科を構想中です

学部名	学科名
経済学部	- 現代経済学科 - ビジネス戦略学科
福祉情報学部	人間コミュニケーション学科

改組後 学部名	学科名
経済経営学部	経済経営学科(160名)
情報科学部	情報科学科(100名)
人間健康科学部	- スポーツ健康科学科(80名) - 看護学科(80名) - 福祉学科(60名)

2024年4月開設(仮称・設置構想中)
※記載の内容は現在計画中であり、変更される可能性があります。

2024年4月の 学部学科改編のポイント

- 3つの学部を開設、カリキュラムも一新
これまでの学びを再編し、新しく情報科学や看護学が学べるように。2学部3学科制から3学部5学科制となり専門性の高い学びを提供
- 「地域に求められる」学びを調査・研究
周南市の協力のもと、地元企業100社にアンケートを実施。必要とする人材像のアンケート結果をもとに、新学部・新学科を設置
- 学生たちの将来像に合わせた学びを展開
学生たちが社会で活躍する20、30年後を意識した教育を提供し、将来像に向けて学生自らが意欲的に学べるカリキュラムを導入

学びの 特徴

1

「変化する時代」に対応するために 育てる"3つの力"

1 地域の課題×課題解決力

学生が主体となって地域の身近な問題を発見し、解決に向けての調査・分析をはじめ、具体的解決策の提案を行うまでの一連の手法を必修科目として学修します。全ての学生が、課題発見能力と解決能力を身につけます。

2 フィールドワーク×実践力

アーリー・エクスポージャー（早期体験実習）を通して、キャリア形成の意識醸成と、必要となる知識・技能への気付きを得ます。希望・適性を明確に把握して、進路を選択する力と実社会に必要な実践力を身につけます。

3 データ×情報活用力

数理・データサイエンス・AIの基礎的素養に関する科目を通し、地域課題の発見・解決に重要な定量的な評価の手法を学修します。課題の把握、解決目標の設定を、エビデンスに基づき論理的に行う能力を身につけます。

新

2024年4月からの

学部・学科

※設置構想中

※学部、学科名は仮称

養成する
人材像

経済経営学部

経済経営学科

経済学、経営学の基礎・応用の学修を通して、地域社会の課題を発見し、解決方法を提言、実行できる地域社会の礎となる人材を養成



1 現代社会や企業経営の課題を発見、解決できる人材を養成

3つの履修プログラム（地域経済経営、グローバルビジネス、地域ビジネスデザイン）を用意し、各プログラムに沿って科目履修することで専門性を深めます。3つのプログラムを横断して履修し、知識や視野を広げることが可能です。

2 課題解決や目的達成にリーダーシップを発揮できる人材を養成

少人数ゼミ（教養ゼミ、地域ゼミ、専門ゼミ・II）などにグループワークやフィールドワークを積極的に導入。課題解決や事業目的の達成に必要なリーダーシップを発揮し、他者と連携・協働できる力を養います。

こんなに
やると
-時代に合わせた情報分野もしっかり学びたい
-数値から情報を分析する力を身につけたい

めざせる資格

中学校教諭一級免許状(国)〔社会〕/高等学校教諭一級免許状(国)〔地理歴史・公民〕/高等学校教諭一級免許状(国)〔商業〕/経済学検定/統計検定ほか

想定される進路

公務員/金融機関/インフラ企業/公益企業/一般企業(地元企業等)/グローバル企業/製造業/産社/サービス業/商品開発/事業開発担当者/起業家/ビジネスコンサルタントほか

類似する大学・学部

山口大学経済学部、下関市立大学経済学部

情報科学部

情報科学科

地方創生に資するビジネスアナリスト、データサイエンティスト、情報エンジニアなど持続可能な地域産業を創るエキスパートを養成



1 これからのデジタル社会を支える情報技術者を養成

これからのデジタル社会を支える鍵となる、AI、データサイエンス、IoT、ビッグデータ解析、またこれらを活用したビジネス展開について学修し、ITの最前線で活躍するための実践的能力を身につけます。

2 ITを用いた課題解決能力のある人材を養成

「ビジネスアナリティクス」、「データサイエンス」、「情報エンジニアリング」の3分野において、IT系企業等で実務経験を積んだ教員から、ITで地域課題を発見・解決する手法を学び課題解決能力を身につけます。

こんなに
やると
-AI、データサイエンスなどに興味がある
-情報技術者として地域の発展に貢献したい

めざせる資格

データサイエンティスト検定/統計検定データサイエンス基礎/統計検定データサイエンス発展ほか

想定される進路

データアナリスト/プロジェクトマネージャー/ビジネスデザイナー/データサイエンティスト/データアナリスト/データエンジニア/システムエンジニア/プログラマー/ネットワークエンジニア/WEBエンジニアほか

類似する大学・学部

広島大学情報科学部、広島市立大学情報科学部

学びの
特徴
2

地域のwell-being向上のために、 "他業種協働"を推進

well-being

個人の権利や自己実現が保障され、
身体的・精神的・社会的に良好な状態
にあることを意味する概念。幸福と翻
訳されることも多い。

自分の学部における専門分野だけで
はなく、他分野の科目を履修すること
で幅広い学びを得ることができます。



連携の例

- 経営・情報の理論を習得し、仮説・検証・データに基づく企業経営に貢献できる人材の育成
- データ分析を得意とし、エビデンスに基づく医療・福祉・健康増進を提供できる人材をめざす
- 今後の発展が見込まれる健康産業に関する、確かな知識・視点を有する経営者をめざす

人間健康科学部

スポーツ健康科学科

多様な健康状態、生活環境にある人々に専門知識と技能をもって身体運動を促進させ、健康寿命の延伸に貢献する専門職者を養成



1 人と人をつなぎ、
地域健康増進のリーダーを養成
「健康運動」「アスリートサポート」「スポーツ健康マネジメント」の3つの履修プログラムを設け、身体運動を通じて学びの場でもある地域社会と積極的に関わり、人と人との交流を促進するリーダーを養成します。

2 地域住民の健康寿命の延伸に
貢献する専門職者を養成
人々の健康で幸福な生活の実現にとって不可欠な、医学・保健衛生学の基礎を学び、これらと密接に関わるスポーツ健康科学を基礎から応用まで体系的に学ぶことで、地域の健康寿命の延伸に貢献できる能力を養います。

こんな
学びに
-公立大学でスポーツ健康科学を学びたい
-スポーツで地域を活性化させたい

めざせる資格

中学校教諭一種免許状(国)(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(国)(保健体育)/健康運動実践指導者受験資格/健康運動指導士受験資格/公認スポーツ指導者資格/アシスタントマネージャー受験資格ほか

想定される進路

病院や福祉施設、健康増進施設等での運動指導/トップスポーツ選手のコンディショニングケア/地域で展開されるスポーツクラブの運営/スポーツの団体・選手を支えるスポーツメーカーほか

類似する大学・学部
大阪大学人間健康学部

看護学科

人々が病気や障がいの有無にかかわらず、生涯にわたって、その人らしい豊かな健康生活を実現することを支える看護師の養成



1 複雑化・多様化する
保健医療提供体制に対応できる人材
あらゆる健康状態の人々に対する看護場面を再現したシミュレーション教育および医療機関、在宅ケア、地域のさまざまな保健福祉施設での実習を通して、ひと一人に応じた質の高い看護実践能力を身につけます。

2 地域の健康生活を創生する
実践力を備えた人材
チーム医療における多職種との連携はもとより他職種との連携を学ぶことによって、地域の保健、医療における課題を見出し、あらゆる健康状態にある地域住民の豊かな健康生活をつくり出す実践力を身につけます。

こんな
学びに
-看護の力で病気や障がいをもつ人を支えたい
-他職種と協働し地域の健康生活を支えたい

めざせる資格

看護師(国)受験資格/保健師(国)受験資格(看護課程修了)/第一種衛生管理員(国)(保健師養成課程修了者のみ)/看護教諭二種免許状(国)(保健師養成課程修了者のみ)

想定される進路

医療機関(病院・診療所)/保健所/保健センター/訪問看護ステーション/地域包括支援センター/企業の健康増進センター/進学(大学院、助産師養成所)ほか

類似する大学・学部

山口県立大学看護学専攻、県立広島大学保健福祉学部

福祉学科

福祉の視点から地域を繋ぎ、さまざまな社会的資源を用いることで地域課題を解決できる、福祉力のある人材を養成



1 福祉力のあるコンシェルジュ・
福祉力のある生活の案内人
ソーシャルワークを基盤に保育や介護といったケアワークの専門知識や技能を備え、どのような健康状態にあっても、誰しも、住み慣れた地域で、安心して豊かに暮らせるための福祉支援を提供できる能力を身につけます。

2 地域資源を活かし円滑な
地域づくりに寄与する人材を養成
地域課題を発見し、解決に必要な地域資源と結びつけるネットワークの構築能力はもとより、独自に社会的資源を作り出すための鋭い洞察力および柔軟な発想力の素地と、高いコミュニケーション能力を身につけます。

こんな
学びに
-地域と連携した、実践的な福祉を学びたい
-多様な世代の人に関わる福祉を学びたい

めざせる資格

社会福祉士(国)受験資格/社会福祉士主任任用資格/保育士(国)受験資格(選択制)/介護職員初任者研修(選択制)

想定される進路

児童相談所(児童福祉司)/児童養護施設(児童指導員)/地域包括支援センター(社会福祉士)/介護保険施設(生活相談員)/社会福祉協議会(福祉活動専門員)/公立・民間保育所(保育士)/福祉関連産業の企業ほか

類似する大学・学部

山口県立大学社会福祉学部、高知県立大学社会福祉学部

入学金・授業料 (2022年度実績)

	入学金	授業料
市外在住の方	282,000円	535,800円
市内在住の方	141,000円	

※市内在住の方とは、次のいずれかに該当する方です。

(1)入学の日の1年以上前から引き続き周南市内に住所を有する方 (2)入学の日の1年以上前から引き続き周南市内に配偶者または1親等の親族が住所を有する方
※入学金・授業料以外に課金費(120,000円程度、1年次のみ)の納入が別途必要となります。 ※その他、教科書代や学外実習費などが別途必要となります。

公立化、
学部学科
改編

周南公立大学は変わり続けます

本学のめざす未来

MISSION〈使命〉

地域の持続的発展と価値創造のための「成長エンジン」となる

VISION〈めざす姿〉

地域に根差し、地域の課題を地域とともに解決し、地域に愛され、地域に信頼され、地域が誇りに思う「地域に輝く大学」となる

VALUE〈価値観・判断の基準〉

学生のためになるかどうか、地域の発展につながるかどうか

教育・研究・社会貢献を通して地域のwell-beingを高めるべく、周南公立大学は邁進していきます。

The Latest News!

新校舎建設予定(2024年)



Access



「徳山」駅から「久米温泉口」または「ひばりヶ丘」バス20分
大学高専下 下車 徒歩3分



山陽自動車道「徳山東I.C.」より
車で5分



お問い合わせ

法人経営課

〒745-8566 山口県周南市学園台843-4-2 TEL:0834-28-4600

経済経営学部と同分野を有する近隣大学の志願動向

大学名	募集 人員	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
広島大学 経済学部	135名	403名 3.0倍	391名 2.9倍	431名 3.2倍
尾道市立大学 経済情報学部	130名	1,028名 7.9倍	1,198名 9.2倍	766名 5.9倍
福山市立大学 都市経営学部	135名	820名 6.1倍	907名 6.7倍	782名 5.8倍
広島経済大学 経済学部、経営学部	400名 (注1)	2,630名 6.7倍	2,678名 6.9倍	2,108名 5.3倍
広島修道大学 商学部、経済科学部	314名	4,023名 12.8倍	4,060名 12.9倍	3,328名 10.6倍
安田女子大学 現代ビジネス学部	145名	679名 4.7倍	472名 3.3倍	474名 3.3倍
福山大学 経済学部	135名 (注2)	399名 2.8倍	427名 3.2倍	403名 3.0倍
福山平成大学 経営学部	25名	107名 4.3倍	108名 4.3倍	62名 2.5倍
山口大学 経済学部	237名	856名 3.6倍	773名 3.3倍	674名 2.8倍
下関市立大学 経済学部	310名	3,863名 12.5倍	3,386名 10.9倍	2,470名 8.0倍

※一般選抜における志願動向、上段は志願者数、下段は志願倍率

※旺文社の大学受験パスナビより作成

(注1) 令和2年度及び3年度の募集人員は390名

(注2) 令和2年度の募集人員は145名

競合校の志願動向の状況（経済経営学部）

大学名	募集 人員	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
高崎経済大学 経済学部	380名	4,003名 10.5倍	3,520名 9.3倍	3,698名 9.7倍
山口大学 経済学部	237名	856名 3.6倍	773名 3.3倍	674名 2.8倍
下関市立大学 経済学部	310名	3,863名 12.5倍	3,386名 10.9倍	2,470名 8.0倍

※一般選抜における志願動向、上段は志願者数、下段は志願倍率

※旺文社の大学受験パスナビより作成

②3 学部4 学科設置構想についての採用意向アンケート調査

設置構想についてのアンケート調査概要

目 的	周南公立大学が令和 6 (2024) 年 4 月に設置を構想している 3 学部 4 学科※ (別表 1) について、本アンケート調査より人材需要の見通しを測ることを目的とする。
対 象	周南公立大学既存学部の就職実績等と、3 学部 4 学科が卒業後の進路に想定する業種・職種を踏まえ、全国の事業所に調査を依頼した。
時 期	令和 4 (2022) 年 10 月～12 月
調 査 方 法	調査対象先の採用担当者あてに依頼状・アンケート調査用紙・学部学科概要・返送用封筒を送付し、調査を実施した。
調 査 内 容	主に選択枝式の 19 問。※一部記述あり 回答元の基本情報 (所在地、種別、勤務人数等)、周南公立大学が設置構想中の 3 学部 4 学科の採用意向等。
回 収 件 数	782 件

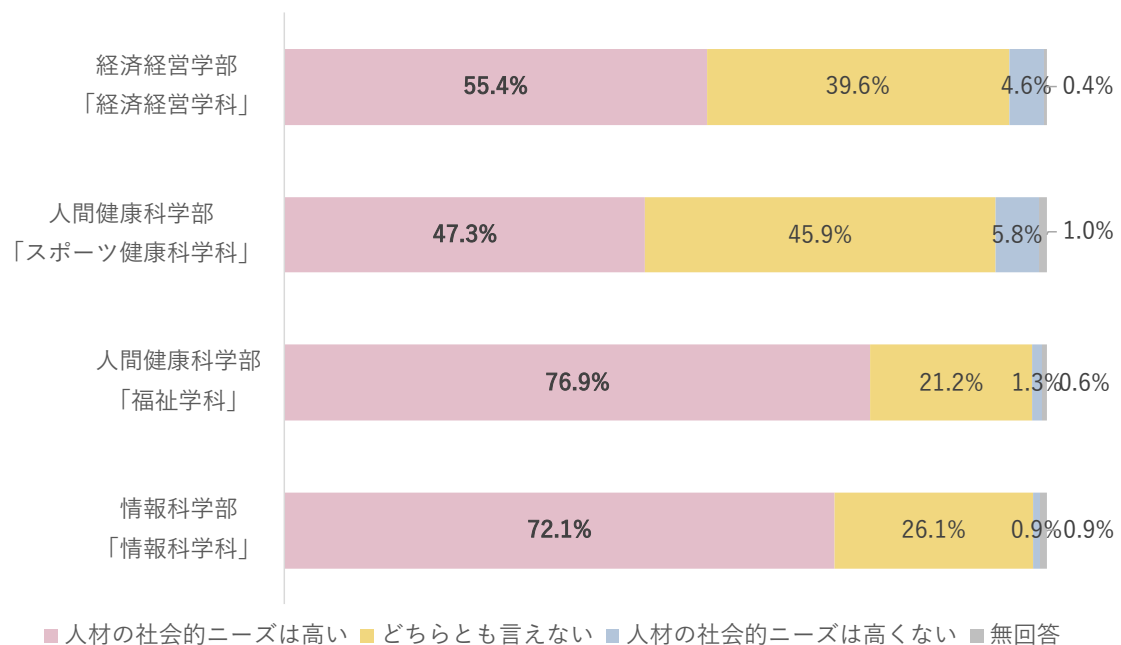
※別表 1

学部名	学科名
経済経営学部	経済経営学科
人間健康科学部	スポーツ健康科学科
	福祉学科
情報科学部	情報科学科

人材需要の見通しについての考察

周南公立大学が構想する以下の3学部4学科が養成する人材の社会的ニーズについては、いずれの学部学科も「人材の社会的ニーズは高い」とした回答が最も多い。人間健康科学部「福祉学科（仮称）」、情報科学部「情報科学科（仮称）」については、回答元の7割以上が養成する人材の社会的ニーズは高いと回答している。

問4、問7、問10、問13の各学部学科が養成する人材の社会的ニーズについての回答件数				
	人材の社会的ニーズは高い	どちらとも言えない	人材の社会的ニーズは高くない	無回答
経済経営学部 「経済経営学科」	433	310	36	3
人間健康科学部 「スポーツ健康科学科」	370	359	45	8
人間健康科学部 「福祉学科」	601	166	10	5
情報科学部 「情報科学科」	564	204	7	7



※各学部学科名称は仮称である。

周南公立大学が構想する 3 学部 4 学科の採用意向および採用可能と思われる人数は、以下の表の通りである。

問 5、問 6、問 8、問 9、問 1 1、問 1 2、問 1 4、問 1 5 の各学部学科の採用意向について				
学部名	学科名	入学定員	採用したい	採用可能人数
経済経営学部	経済経営学科	160 名	383 件	624 人
人間健康科学部	スポーツ健康科学科	80 名	282 件	487 人
人間健康科学部	福祉学科	60 名	297 件	535 人
情報科学部	情報科学科	100 名	358 件	539 人

※採用可能人数では、「人数は未定だが最低 1 名」を 1 人とカウントしています。

3 学部 4 学科のそれぞれの採用可能人数は、予定する入学定員の経済経営学部「経済経営学科（仮称）」は約 4 倍、人間健康科学部「スポーツ健康科学科（仮称）」は約 6 倍、人間健康科学部「福祉学科（仮称）」は約 9 倍、情報科学部「情報科学科（仮称）」は約 5 倍となっている。

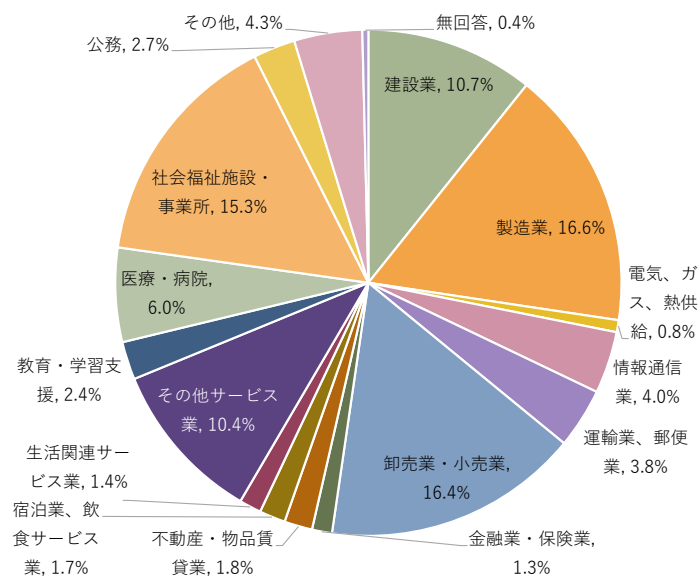
上記の結果から社会的ニーズへの評価も含め、各学部学科の卒業生については、十分な需要があると考えられる。

調査結果について

1 回答元の基本情報（業種）-問 1

回答元の業種は、「製造業」が130件（16.6%）で最も多く、続いて「卸売業・小売業」が128件（16.4%）、「社会福祉施設・事業所」120件（15.3%）となっている。

選択肢	件数
建設業	84
製造業	130
電気、ガス、熱供給	6
情報通信業	31
運輸業、郵便業	30
卸売業・小売業	128
金融業・保険業	10
不動産・物品賃貸業	14
宿泊業、飲食サービス業	13
生活関連サービス業	11
その他サービス業	81
教育・学習支援	19
医療・病院	47
社会福祉施設・事業所	120
公務	21
その他	34
無回答	3

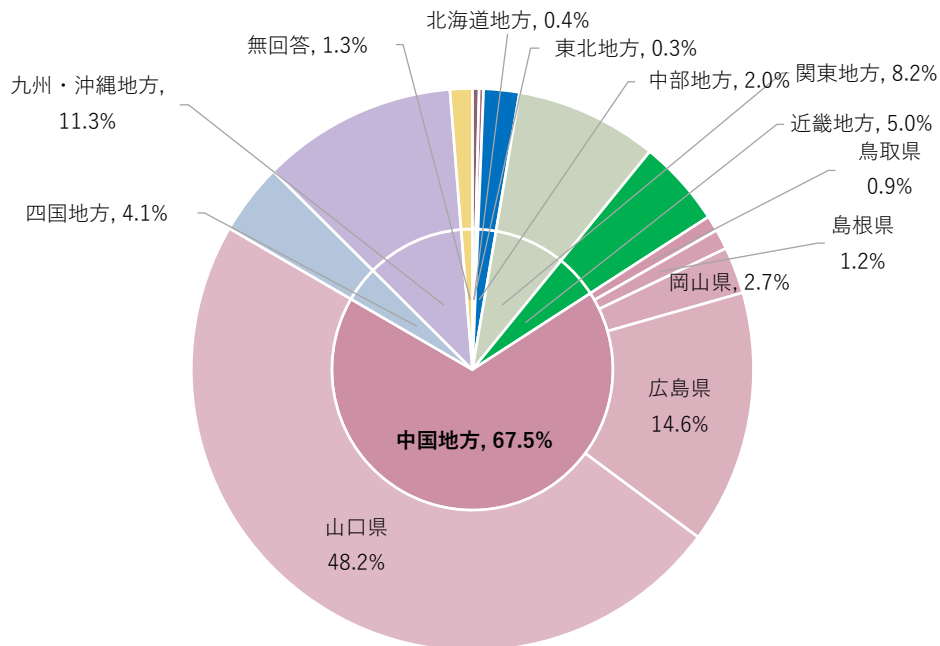


2 回答元の基本情報（所在地）-問2

回答元の所在地について、周南公立大学が立地する「山口県」が377件（48.2%）で最も多く、次いで広島県の114件（14.6%）となっている。両県を含む中国地方が67.5%となっている。ついで、九州・沖縄地方が11.3%、関東地方が8.2%と続いている。

選択肢	件数	選択肢	件数	選択肢	件数
北海道	3	静岡県	3	香川県	10
宮城県	1	愛知県	9	愛媛県	17
福島県	1	三重県	1	高知県	2
茨城県	2	京都府	7	福岡県	71
栃木県	1	大阪府	20	佐賀県	3
群馬県	1	兵庫県	10	長崎県	1
埼玉県	4	奈良県	1	熊本県	3
千葉県	4	鳥取県	7	大分県	5
東京都	49	島根県	9	鹿児島県	5
神奈川県	3	岡山県	21	無回答	10
新潟県	1	広島県	114		
富山県	1	山口県	377		
岐阜県	2	徳島県	3		

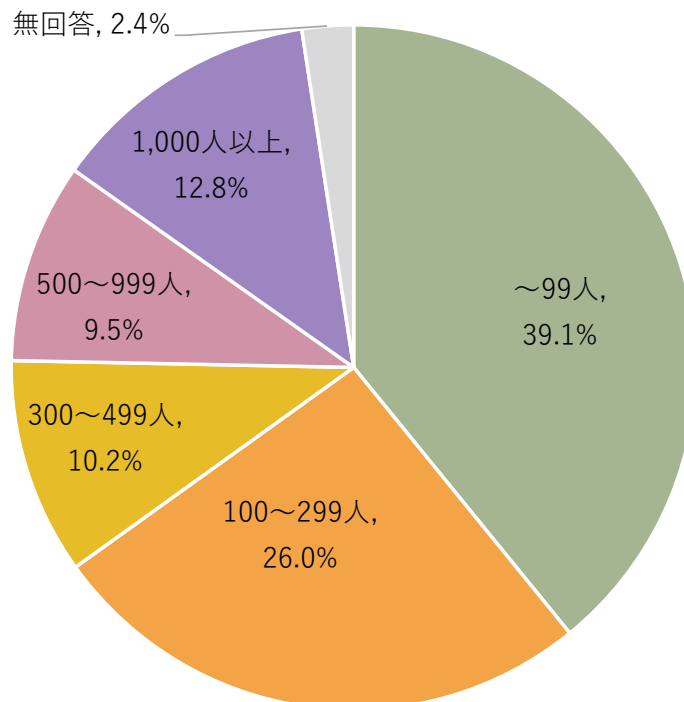
※回答があった都道府県のみ掲載



3 回答元の基本情報（従業員規模）-問3

回答元の従業員規模で最も多かったのが、「～99 人」で 306 件（39.1%）となっている。ついで、「100～299 人」が 203 件（26.0%）と続いている。

選択肢	件数
～99 人	306
100～299 人	203
300～499 人	80
500～999 人	74
1,000 人以上	100
無回答	19

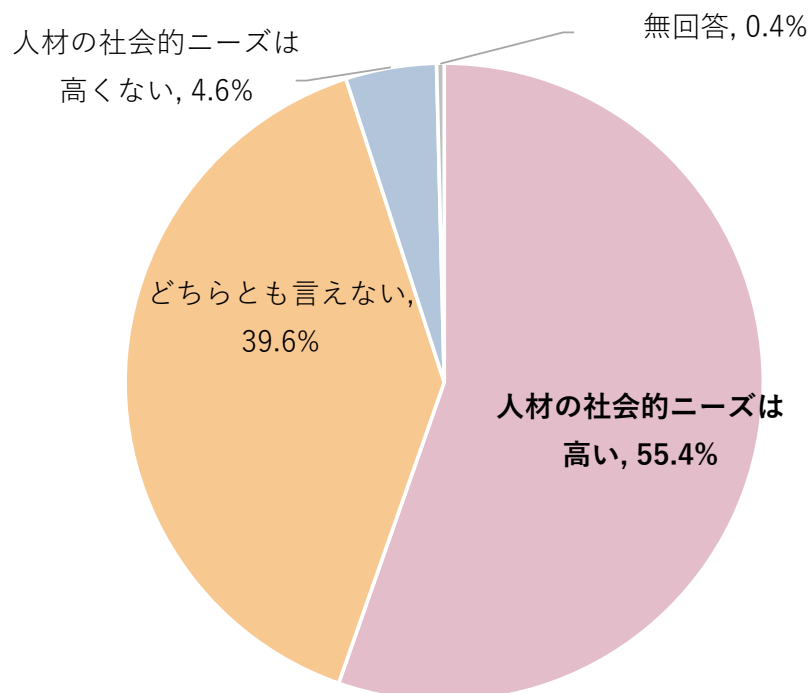


4 経済経営学部「経済経営学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズ-問4

経済経営学部「経済経営学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズについて、全体の半数以上が「人材の社会的ニーズは高い」と回答している。（433 件/55.4%）

一方で、「どちらともいえない」が 310 件（39.6%）、「人材の社会的ニーズは高くない」が 36 件（4.6%）となっている。

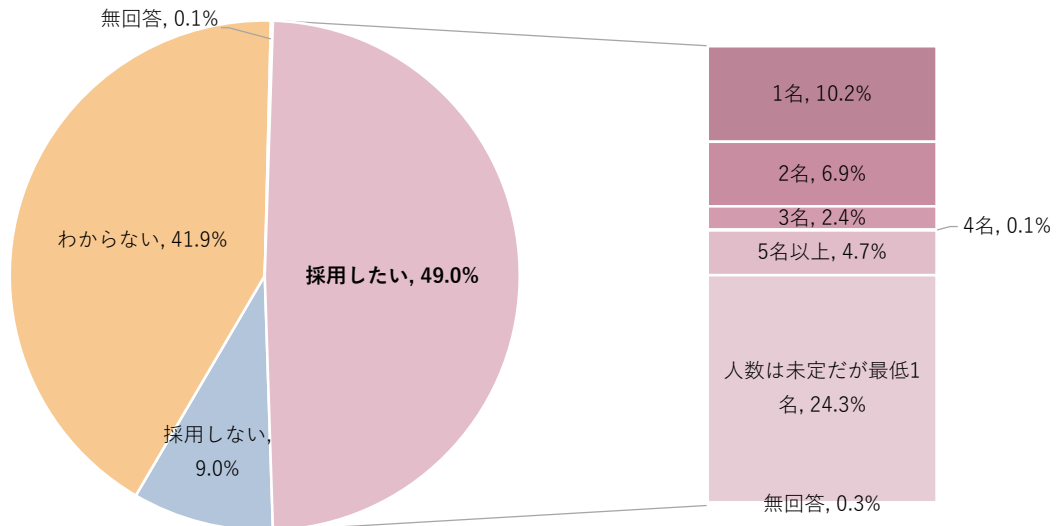
選択肢	件数
人材の社会的ニーズは高い	433
どちらとも言えない	310
人材の社会的ニーズは高くない	36
無回答	3



5 経済経営学部「経済経営学科（仮称）」が養成する人材の採用意向-問 5、問 6

経済経営学部「経済経営学科（仮称）」を卒業する学生の採用意向について質問したところ、「採用したい」が 383 件（49.0%）となっている。

「採用したい」と回答した 383 件に対し、採用可能な人数を質問したところ、合計が 624 人となっている。



選択肢	件数
採用したい	383
採用しない	70
わからない	328
無回答	1
合計	782

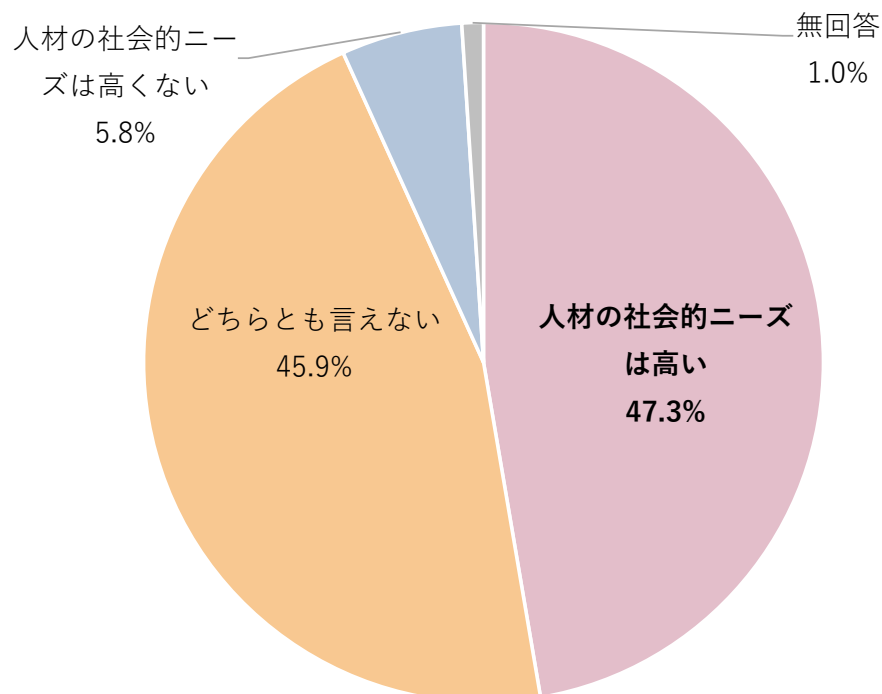
選択肢	件数	人数
1 名	80	80
2 名	54	108
3 名	19	57
4 名	1	4
5 名以上	37	185
人数は未定だが最低 1 名	190	190
無回答	2	—
合計	383	624

※「人数は未定だが最低 1 名」を 1 人としてカウントしています。

6 人間健康科学部「スポーツ健康科学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズ-問7

人間健康科学部「スポーツ健康科学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズについて、「人材の社会的ニーズは高い」が370件（47.3%）で最も高くなっているが、「どちらとも言えない」も359件（45.9%）の回答があった。

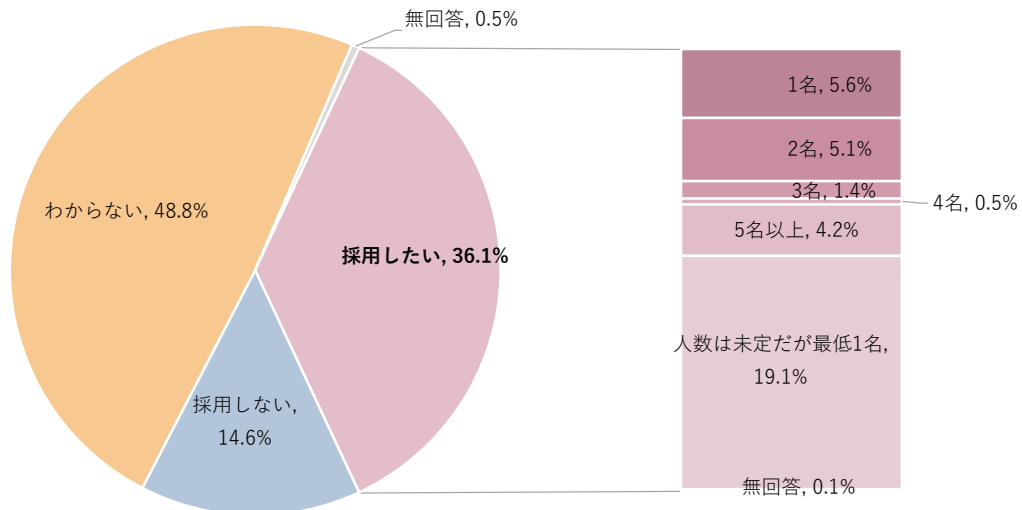
選択肢	件数
人材の社会的ニーズは高い	370
どちらとも言えない	359
人材の社会的ニーズは高くない	45
無回答	8



7 人間健康科学部「スポーツ健康科学科（仮称）」が養成する人材の採用意向-問8、問9

人間健康科学部「スポーツ健康科学科（仮称）」を卒業する学生の採用意向について質問したところ、「採用したい」が282件（36.1%）となっている。

「採用したい」と回答した282件に対し、採用可能な人数を質問したところ、合計が487人となっている。



選択肢	件数
採用したい	282
採用しない	114
わからない	382
無回答	4
合計	782

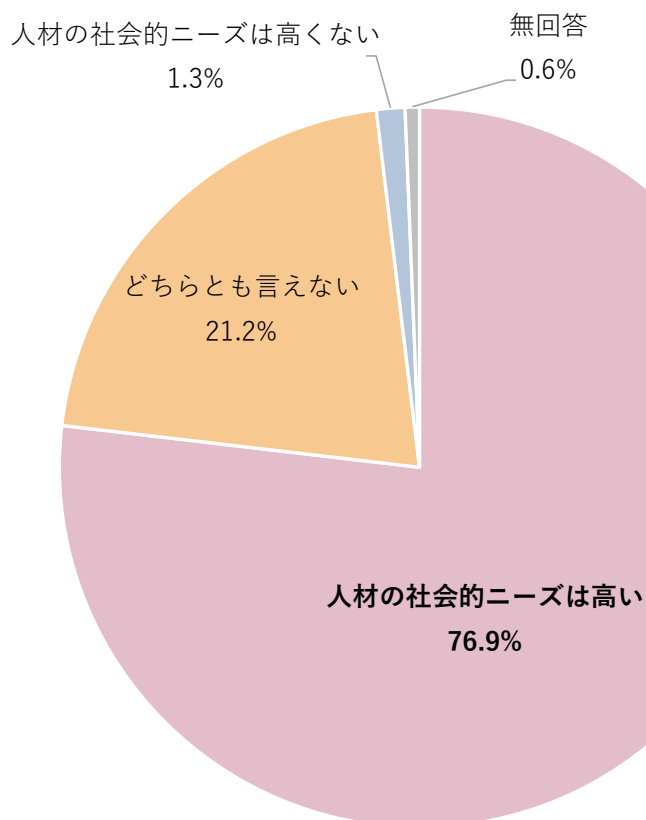
選択肢	件数	人数
1名	44	44
2名	40	80
3名	11	33
4名	4	16
5名以上	33	165
人数は未定だが最低1名	149	149
無回答	1	—
合計	282	487

※「人数は未定だが最低1名」を1人としてカウントしています。

8 人間健康科学部「福祉学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズ-問10

人間健康科学部「福祉学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズについては、回答元の7割以上が「人材の社会的ニーズは高い」と回答した。（601件/76.9%）

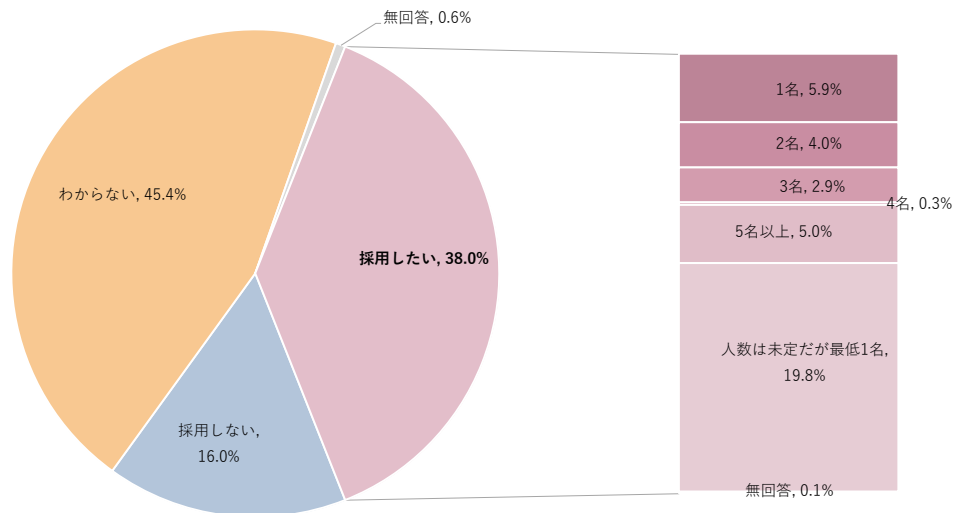
選択肢	件数
人材の社会的ニーズは高い	601
どちらとも言えない	166
人材の社会的ニーズは高くない	10
無回答	5



9 人間健康科学部「福祉学科（仮称）」が養成する人材の採用意向-問11、問12

人間健康科学部「福祉学科（仮称）」を卒業する学生の採用意向について質問したところ、「採用したい」が297件（38.0%）となっている。

「採用したい」と回答した297件に対し、採用可能な人数を質問したところ、合計が535人となっている。



選択肢	件数
採用したい	297
採用しない	125
わからない	355
無回答	5
合計	782

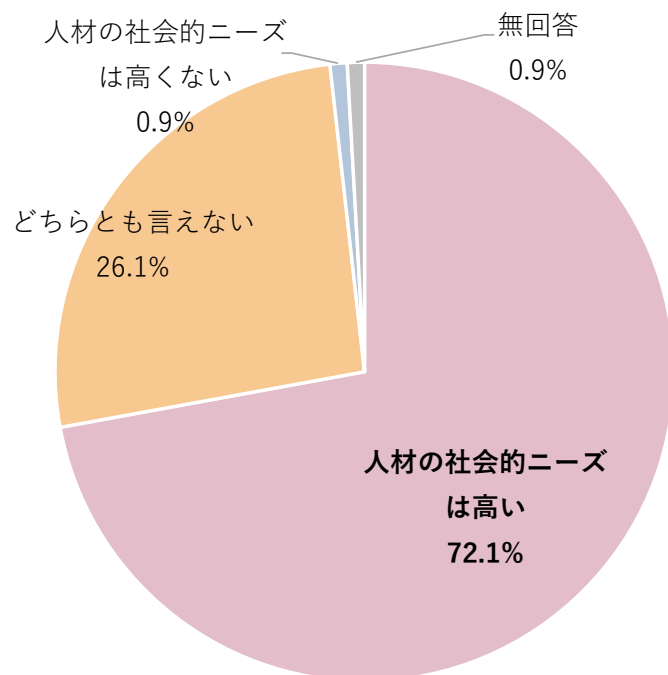
選択肢	件数	人数
1名	46	46
2名	31	62
3名	23	69
4名	2	8
5名以上	39	195
人数は未定だが最低1名	155	155
無回答	1	—
合計	297	535

※「人数は未定だが最低1名」を1人としてカウントしています。

10 情報科学部「情報科学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズ-問13

情報科学部「情報科学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズを回答元の7割以上が「人材の社会的ニーズは高い」と回答した。（564件/72.1%）

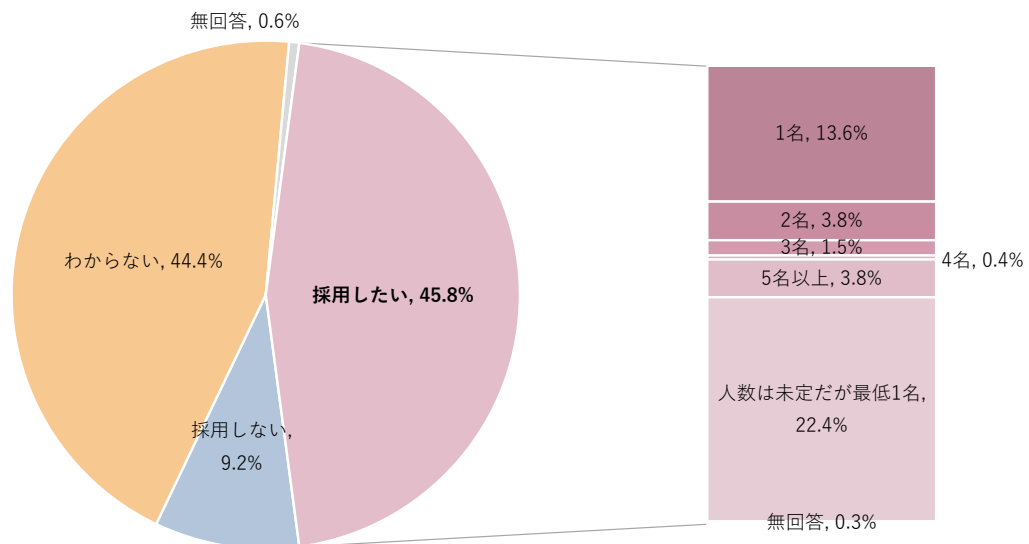
選択肢	件数
人材の社会的ニーズは高い	564
どちらとも言えない	204
人材の社会的ニーズは高くない	7
無回答	7



11 情報科学部「情報科学科（仮称）」が養成する人材の採用意向-問14、問15

情報科学部「情報科学科（仮称）」を卒業する学生の採用意向について質問したところ、「採用したい」が358件（45.8%）となっている。

「採用したい」と回答した358件に対し、採用可能な人数を質問したところ、合計が539人となっている。



選択肢	件数
採用したい	358
採用しない	72
わからない	347
無回答	5
合計	782

選択肢	件数	人数
1名	106	106
2名	30	60
3名	12	36
4名	3	12
5名以上	30	150
人数は未定だが最低1名	175	175
無回答	2	—
合計	358	539

※「人数は未定だが最低1名」を1人としてカウントしています。

12 新設学部学科に対し、期待される点・ご要望-問16～問19

※以降、すべて原文ママ

経済経営学部「経済経営学科」（仮称）について
地域での人材確保、人材育成にとっても期待しております。
より実践的な授業が望まれると思います。
・最新のケーススタディを通じて、企業活動やマーケットへの影響を実務的に学べるゼミがあると面白そうです。
・商学部の方が良いのでは
「経済経営」というネーミングに古さを感じる。
地方および地域創生のためには何ができるのかを新たな視点で捉え、起業ができるような考え方やパワーのある人物に期待します。
人間が尊重される経済活動とはいかなるものか取り上げてほしい。
法人運営の総合職、管理マネジメント候補職員としての採用検討
マネジメント、コミュニケーション能力を養ってもらいたい
現代社会や企業課題を発見し、課題解決や目的達成に力を発揮できる人材育成
マネジメントに必要なリーダーシップの取れる人材を育成して頂きたい。
周南コンビナートという全国でも有数の技術地域において工学部がないので、地元根ざし若手で有望者を県外、市外に出さないために工学部の方が必要と思われる。
工業、商業の高校はあるのに大学がない
地元に残る人材の育成をお願いします。
今後の日本経済を担う人材育成、海外の人材に負けない知識や発想力を持った人材育成
物流業界において経済、経営といった分野を専攻されてきた学生様は大変重宝されると考えております。弊社としましては是非就職、求人関連のご説明をさせていただけると幸いです。
よくある学部学科とならないようにしてほしい。
リアルコミュニケーション力を養っていただきたい
多角視点をもったチャレンジ精神溢れる学生様の育成。
インターンシップへの積極参加。
企業が欲しがらるような専門的能力の開発に期待します。
（経営企画、企業会計、法規ができるような）
県内に類似する学部、学科があるため特色のあるカリキュラムを取り入れてほしい。
周南コンビナートの存在、山口県が化学工業県であることなどを知る学生は全くいないのが現状です。
山口県内の産業の魅力を勉強することで地元就職を促すことも出来るのではないのでしょうか。
以下 すべての学科について共通です。
我々の業種は知識よりも人間力が問われると考えております。
人の機微を敏感に感じとれる人材の育成を期待しております。
将来当社の経営の中核を担う人材を期待しています。
一般的な経済学部や経営学部と貴学の特色がどう違うのか？
または同じなのか早めにアピールとして謳ってほしい。
今はコロナで企業のCM 価格も特に地方局は安いとも聞く。
ネット、TV など利用されると良い。地方紙の記事広告も良い。
小売業であるため、経済学部卒業の社員は多くいます。
店舗だけでなく、本部スタッフとしても幅広く活躍しておりますので、マーケティングに興味のある学生と出会う機会があれば嬉しいです。
現代の速い動きでも対応できる学生
資格取得のみならず、課題解決や達成に向けた姿勢や力を養っていただきたいです。

交流会や就職説明会など学生の方々と知り合える機会があれば
土曜、夜間に開講する社会人コース 他大学の教授のオンライン講義
経済経営学学科理論を経営どころか、実際に役立つ人材を育成するための学科がよく分からない。
経済経営学部期待する事は分かりませんが、私は当時の経済学部経営学科にて学びました。 経営学科を選んだ理由は経済だと思いや考え方に偏ってしまい、頭でっかちになりそうなのでより実務を学べる経営学科を選び、現に今 30 年以上が過ぎ経営者となりましたが、そこで学んだ事が役立っています。 今は 1 つの学科になったようですが、より実務を学べる学科になってほしいです。
理系要素のある授業をたくさん組み込んでほしい これからの社会は文系のみの人材はコンピューター（AI）にとって関わる。とくに工学系の知識のある経営学科卒業 のるがほしい。
物流現場の最前線で業務や作業を行うことに抵抗感なく、能動的に動ける人材を求めています。
積極的にコミュニケーションを取れること
貴校だからこそ育つ学生等が知りたいです。
経済状況を把握し、行動できる人材を求めます
ビジネスや経営者視点のことを学べる学部だと面白く感じました。
全ての企業で働き方改革が進められている中、労働者と利益追求集団である企業とのギャップを埋めるための経営学は、これからの社会において必要不可欠と思います。
コミュニケーション力の事前育成に期待したい（学部生の 4 年間で）
経営の理解者（管理者）として貢献してほしい。 後継者問題で会社存続の危機にやる気と情熱で取り組む人材の確保は必要。 M&A ではなく養子的なシステムがあると良い （例）将来の会社運営に興味のある方とか マッチングの時または募集の時に書き込む事で良いのか難しい問題である
企業や地域の課題解決に主体的に取り組むことの出来る人材を育成してほしい
課題解決や目的達成にリーダーシップを発揮できる人材の育成に期待したい
情報科学科にも言える事ですが、近年 DX 等のデジタル化に伴い、IT での需要と電子化が課題となっているので、プログラムの基礎が仕組み等の知識があるといいのではないかと思います。
活躍の場（就業の地）を地元でこだわらないでもらいたい。
試験のための学問ではなく、知識として身に付け実践出来る人、時代は変化していますがビジネスマナー、社会人の常識、普遍的な部分は学んでほしい。 人間力、考える力、想像力、相手の立場になって考えること
福祉業界も経営や経済を理解して運営に携われる人材が必要
当社は「ひとり一人のやる気を採用基準に」幅広く学生の採用を行っております。 貴校の学生様におかれましても、是非選択肢の 1 つとしてご検討頂けると幸いです。 今後ともよろしくお願いいたします。
経済経営学部の卒業というだけでは採用しません。 その学生が取得している資格によります。
地方のマーケティングいかに把握しているかどうかにかかっており、卒業後県外に戻る前提では採用どころではないと思う
経営的な観点から、会社を俯瞰できる人材に期待しています。
どの学部についても、今までの徳山大学からどのように変わるのか、変わっていくのかわからないので答えようがありません。 イメージで採用することはありません。 もっと具体的に各学部で目指す教育方針を少なくとも出してもらいたいと思います。 授業料が安いだけのうりでは困ります。

経営に対する知識のある学生さんを採用したい
中央志向ではなく地方で活躍の場を求めている
4年後にはぜひご縁をいただきたいです。
各業界、職種に適応しやすい学部として企業側の人材ニーズも高いと思います。 ただし、同様の学部は他大学にもたくさんあるという点においてどのようにカリキュラムや体験をさせ、他学と差別化したスキルや経験をもたせるかがキーになると思います。
起業家精神はじめ、自律的に考える人材を担ってほしい
リーダーシップのとれる人材に入社前から育てていただけるのには期待できる
日本企業の海外への展開や外国人労働者が今後ますます増加することが予想されることから、外国語の話せる人材を併せて養成されることを希望します。
経営や経済を学ぶことにより社会全体のお金の流れを理解したり、自身のライフスタイルを描く事ができる人材が育成されると感じる。
・テストの成績よりも実践力が必要 ・コミュニケーション能力（聴く力、伝える力）の高い人材を求めます
どこにでもある
海外との取引や外国人労働者を想定すると、英語の話せる人を養成していただくとありがたいと思います。
学内の企業合同説明会の予定があれば参加させて頂き面談等で物流業に対する知識が高い方がいれば採用につながりたいと思う。
一般の経済経営関係は特色が分かりにくい。専門などを活かすものがあれば良いと思います。
何大学でも被っていることが多い学科のため、ニーズとしてどうなのかと思う。何か特徴としてある場合は需要も高くなる。
利益を生むために、業種ごとにどのような課題達成が必要か学んでほしい。 損益計算書の読み方も大事。
地域により根ざした教育の実施
地元企業に就職していただける学生が増えるように協力していただきたい
地域社会、地域経済の発展のために活躍できる人材の育成に期待します。（各学部共通）
地元で活躍できる若い人材の育成と地元での就職を可能な限り進めていただきたいです。
福祉施設運営においては、介護保険の下での運営は厳しい状況となっております。 視点を変えて考える事のできる人を求めたいです。
体育会系が望ましい
・経営者の能力向上、営業の能力向上 ・専門学科（工学系）を除く部分の能力向上を期待する
全学部、全学科な共通して、将来を担う人材として活躍する為にそれぞれの専門分野を学んで活かしていただきたいと思います。
実践的な体験をされた学生を期待したい
IT 情報知識も習得できていれば良いと思います。
事務部門だけの採用は現在なかなか財源不足で厳しいのですが、将来ケアマネジャーやレセプト請求業務などが担当できる者なら施設としても歓迎します。
若者が集まることはとてもよい。 学力向上が必須である。
どの学部にも言えることだが 自分は「最高学府」の卒業者だと誇れるよう 知識と教養をしっかりと身に付けた上で立派な社会人としてチャレンジしてほしい。
経済的知識の探求に加え、積極性、忍耐力が備わった人材の育成を希望します。
面白くなくても、係数重視、経営数学重視の育成をしてもらいたい

企業経営の課題を発見する力は、多くの企業で求められると思います。 当社も必要とする人材です。
地域社会や地域貢献の人材が出てくれることに期待したい
リーダー職など役職がつくにつれ、簿記やマネジメントに関する知識が必要とされるため、その点は期待できるかと思います。
リーダーシップを発揮できる人材に期待したい
福岡県、地方都市の小さな会社です。 業種的、また大卒採用を行っていないこともあり 回答しづらい面があり申し訳ありません。
経済、経営、会計の基礎を学び、視野が広い人材となってほしい。
地域社会の課題に取り組む姿勢だけでなく、何事にも主体性を持って自走できる学生を採用したいと考えております。そのよう学生を多く輩出して頂きたいです。 また、安定志向ではなく、変化を好む学生であると尚、ありがたいです。
コミュニケーション能力→チームとして動ける人材
どの学部にも言えることですが山口県の活性化に是非つなげてもらいたいと思います。
地域の企業の活性化を担える人材の育成を期待する
社員の研究として
時代の変化に柔軟に対応できる能力やスキルを身につけてもらいたい
全学部とも、山口県内、特に周南に就職する事に期待します。
社会に出て仕事をする上で経済を知るという事は切っても切れないので、必要不可欠な分野であると感じる
市場の労働ニーズがマッチを感じない。 県外、海外（留学生のそのまま帰国）ニーズのイメージが強い。 その学生をどう地元と共に産業化させたいのかがイメージが湧かないのが残念です。
教員免許取得
弊社は文理問わず広く採用しております。 実際に経営学部出身でエンジニアとして活躍している社員は多数おります。 ぜひ、ITに興味をお持ちの学生さんにご縁があればと考えております。 将来的には役職者に上がっていく中で、勉強された経済経営学の視点を大いに活かして頂けるとと思います。
幅広く企業活動に興味をもち学んできた方を採用したいと考えます。
課題解決能力、提案力 ビジネスの展開など
経営に関する実務へつながった知識習得をされると良い
福祉に対して熱い心がある方であれば資格を問いません。
当社の将来を担う人材として各事業の所長としてお迎えしたいと考えます。
変化の激しい時代に対応した経済を学び、自ら考え行動できる人材育成をしてほしい。 依存型→自立型
専門学校との差別化、大学である事の強みを活かして物事に柔軟に対応できる人材を育てていただきたい。
経済学は、就職して活かせるものはほぼないと思う。 どんな企業があって、何をを目指すかを明確にできると本当に何のスキルが必要で、これからの４年間で何を学べばよいかが見えてくると思う。 経済学部に入った目的をまず明確にして、志をもった４年間で過ごしてほしい。
大手化学工場の協力的会社等にも採用のチャンスがありますか？
弊社は大卒新人枠がありません。 申し訳ありません。
・広い分野を学ぶことで、視野を広げる事 ・学生経験だけでは経済、経営を理解することは難しいと思いますので、様々な企業を使って学んでもらえたらと思います。

大学で履修したことを会社で今も活かしているか？と尋ねたら恐らく多くの人が NO と答えます。 高い専門性を仕事に活かそうと思ったら、大学院まで行かないとその場を得られないというイメージです。 だからこそ、貴校には 4 年制の中で社会で役に立つ専門知識、専門技術を指導できる大学であってほしいと思っています。
貴校のご卒業生を採用できることを楽しみにしています。
地域経済の発展に貢献できる人材の育成をお願いしたい。
ニーズがございましたら、学内説明会を実施したく存じます。 毎年 15～20 名近い大卒採用を行っておりますので、貴学の学生にも是非興味を持っていただけたら幸いです。
学部、学科に限らず地域経済、地方経済の活性化に前向きな学生を育てていただきたい。
すぐ辞めない 電話に出る 嫌な仕事もやる
会社として新規事業を積極的に立ち上げているので、経営について専門知識をもった方を歓迎します。
どの学部においても、学生自身の社会生活上のキャリア、また社会からのニーズを思考するために必要な観点から、専門教育においても知識、情報の提供、養成を期待します。
積極性、コミュニケーション能力、パソコン能力、専門知識の強化を求めます。
地域振興の為の授業修得（カリキュラム）必要
弊社では店舗ごとに経営をするスタイルですので、課題の発見、解決の能力は非常に活かせると考えます。 また、経営をするにはリーダーシップ力も必要ですので、こちらの学部の目指すところは、どんな企業でも活躍できる人材となるものと期待できます。
地域経済経営、グローバルビジネス、地域ビジネスデザインと 3 つの履修プログラムで各々の専門性を深めることができると同時に 3 つのプログラムを横断的に履修できるなど画一的ではなく学生一人一人の考え、方向性を重視したプログラムで自分の意志をしっかりと持った人材育成が期待できる。
DX 対応に期待したい。
当社は学部学科に関係なく、人間力重視で学生さんを採用しております。 採用人数についても決まりはございません。よろしくお願いいたします。
大学で学んだことを基礎として、社会、会社で求められることを自分で学び続け、そこから確固とした自分の社会、会社で役立つスキルを作り上げる。 このような意識を持つ学生を求めています。
地元で就職し、経営まで出来る人材を育成して欲しい。
少子高齢化問題が深刻化している中、当社の人材派遣業界も次世代を担ってくれる若手の社員確保は非常に重要だと考えていて、そんな中、貴校の新しい学部ができるニュースは非常に期待できると思います。
経済での市場状況の把握と分析ができ自社商品の戦略立てができる人材
様々な目線から課題にアプローチする力を身に付けられること
公立の経済経営学部は珍しいと思うので、地域と連携した学びをされることを期待します。
日本経済新聞などを読んで、経済に関する現状を理解できる人材の育成をお願いします。
現状通りで問題はないと思います
就職後、幹部候補としてはリーダーシップを発揮できる人材の育成を期待しています。
・地元企業インターンシップへの参加（単位付与） ・学内企業説明会の開催（①一つの業界に特化 ②様々な業界を集める） ・地元企業とのコラボレーション（学生ならではの視点をいかした商品企画等）
就活が始まる頃に、自信を持って経験を話せるようになってほしいです。（全学部共通）
公務員に準ずる団体として、将来病院の舵取り役を担う事務職員を育成したいため、現代の動向を読み取る力、リーダーシップ等、組織人に必要な要素を身に付けた学生さんを是非採用したいです。
学部、学科名はともかく、どういった学習内容やスキルが身につくかが重要。 質の高い人材であれば、全国から注目期待が高まると考えます。

社会保障についての今後の見通しについて学習していただき、今後の社会福祉の方向性について検討できる人材を期待している
先のことを予想し、対応できるように広く学んでいてもらいたい
施設の中においても、総合的な政治、経済の諸政策について知識を持っている若い人は必要です。
せっかく周南市に設置するのであれば、地元の企業に就職して活躍できる人材を育てていただけるよう期待します。
課題を自ら発見して解決する能力の育成に期待します。
人材の社会的ニーズおよび地元経済界の期待は大きいものがあると思います。 地場中小企業も期待しております。
人材の周南圏域での就職
ミクロな視点ではなく、マクロな視点を持つことは良いことだと思う。 ただ頭でっかちにならないよう。 その為に必要な法律や、付随知識等点ではなく線で学び、アクションに至るまでの道筋を提示することが必要だと思う。
すべての学部で共通しますが、弊社が求めているものではありません。
自由な発想により業績向上に貢献できる人材を送り出していただきたいと存じます。
経営を学んで、自身で会社を興す能力がつくことを期待しています。
大学で学ぶ経営と実際の経営は同じようで違います。 離職が多いのも、その理想と現実のギャップが違うからだと考えます。 社会人の授業やインターンシップ等を通じて、現実も知って学んでほしいです。
企業の中心的人材となるべく、経営全般知識を習得してほしいです。 経営に関する学際的な学びも積極的に行ってほしいです。 経営と情報、経営と健康、経営と地域貢献、経営と環境などです。
・地元の経済界をリードできるような人材の育成 ・優秀な人材の地元からの流出を阻止できるような特色のあるカリキュラムの構成
座学だけではなくフィールドワークも経験
学生さんにとって魅力ある学部であれば、学生数も増えて地元は活性化すると思います。 当社を含めて、地元の企業への学生さんの関心が高まれば、採用につながると思います。
企業が発展し続けていくためには、課題発見を行い実行にうつせる人材が不可欠だと思います。 経営の知識を持ち、行動力のある方々のニーズは高いかと思っています。
簿記、会計の実務と文書作成の実務のイメージが学科名にあるとよい。 企業活動マネジメントなど。

人間健康科学部「スポーツ健康科学科」（仮称）について
本音を言うと、お金との直接的な結びつきが将来的に考えると低い学科なのかなと思います。
人間工学や臨床系など人間科学の中でも理系寄りのカリキュラムを充実させると面白そうです。
人生 100 年時代といわれますが、実際には高齢者施設で動けない人も多い。
本来の健康寿命を延ばすことと、その専門の知識者の育成を周南エリアから発信できるように希望します。
体を大事にして、人間としてバランスの取れる健康を科学してほしい
工場等で作業時、体の負荷軽減や体のケアを指導できる人材
地域の活性化に貢献される人材の育成、教育に期待します。
学生生活でスポーツに携わっていた学生さんが営業に興味を持ってくれることに期待します。
注目している
健康寿命延伸のためこれからは「予防」に力を入れないといけないと思っています。そういう人材を求めています。
鍼灸やあんまなどの資格が取れるとスポーツ界では重宝されると思います。（柔道整復師など）
弊社は健康に関わる事業で営みを立てていますので、つながりはあると思われます。
高度な知識、技術を持った専門性の高い人材の育成が良いと思います。
旧徳山大学のように優れたスポーツ選手を入学させることが出来ないのであれば、廃止すべきではないでしょうか。税金の有効活用を期待します。
健康経営ニーズ指向への期待感から
卒業時に国家資格を取得できる体制作りをしてほしい。 ex 健康運動指導士、健康運動実践指導者など
セルフメディケーションの観点から、登録販売者の資格取得支援もあると良いのではないかと思います。
福祉施設や、支援を必要とする方々や子ども達に、スポーツやからだを動かす機会をつくり、体力の向上、自己肯定感を高め、社会参加を積極的に行える指導者、人材を養成して頂きたいです。
2020 年に貴学（旧経済学部ビジネス戦略学科スポーツマネジメントコース）を卒業いたしました。 在学中には、中学校、高等学校（保健体育）（商業）の教員免許とバスケットボールコーチライセンス C 級を取得させていただきました。 実践する機会を多く頂き、このような資格や経験を得ることができたと感じております。 ぜひ、これから同じ道を進む学生方に対面での実践力が磨かれるサポートをしていただけたらと思います。
当社はスポーツ施設の運営・管理を行っておりますが、コロナ禍以降フィットネス業界は深刻な人材不足に直面しています。 コロナの影響によるサービス業離れが大きな要因ですが、業務委託という働き方にも原因があります。 最近はパーソナルトレーナーが注目されフリーで働きたいと思っている若い方が増えました。 専門学校ではパーソナルトレーナーだけでなく、ストレッチ系、整体系の業務委託で働くことをすすめる事も多いようですが、新卒で業務委託で働きはじめたが、客がつかず、食べていけず、やむなく当社の中途採用にエントリーしてくる方が多くなりました。中には他業界へ転職してしまう事も多いようです。
スポーツ健康科学科がどのような人材を目指しているのか分からない
治療から予防への時代となり、非常にニーズが高くなると考えられる中、専門性とスキルの高い人材が求められると思います。卒業後、なるべく短い期間で戦力となる様な授業カリキュラムと実践の経験を積める仕組の充実を希望します。 また、“人間力”が上がるカリキュラムも希望します（社会人外部講師の登用など）
スポーツを通して健康や地域の活性化を行ってほしいです。
スポーツ健康科と言われると、業務とかけ離れてきますので「健康・安全」をテーマとして、企業の取組を実現できる人材を育成される学科であれば、ニーズは多いと思います。

劇的な環境の変化によって、身体も精神も健康を保つ手が以前より難しいと感じる。スポーツの考え方を通じて、現在にアジャストしたマネジメント力を有した人材が増える事で、人間本来の姿での社会活動が営めれば良いと感じる。
忍耐力や体力、ねばり強さ等に期待します。 営業職（ルート営業）の採用を積極的にしていきたいと思います。
弊社は厚生労働大臣認定健康増進施設、指定運動療法施設の管理運営を業務委託されているため、社員は健康運動指導士または、健康運動実践指導者の有資格者としています。 貴校で新設のスポーツ健康科学科にて資格が増える事に期待いたします。
弊社は、子ども向けスポーツスクールを展開している会社です。 2年前に、山口県にも開校しました。 人材が確保できれば事業展開が広げられるため、当学科の新設に期待しております。
高齢化が急速に進んでいく中では、“健康”は更に重要な人生におけるポイントになります。地域に根づいた活動は、地域の活性化直結すると思いますので、若い世代の方の積極的な地域参加を期待します。
スポーツビジネスについても学べる環境を期待します。
これから高齢者は、できないことが増える中でもできることでいろいろスポーツを楽しみたいと考えていると思うので、そのあたりのプラン等を発信できる学生を採用したい。
スポーツや健康といった視点はどの業界にも必要とされるもので、 そのための基礎知識や経験は各所で活かすことができますと思います。 大学で学ぶ際も専門的な仕事、職場のイメージだけではなく、健康経営や心身ともに健康が重要視されていることを広く視野で身につけてほしい。
生涯スポーツ指導員、教員（保健体育）の育成に力を入れて欲しい
めざせる資格の部分でアシスタントマネジャー資格は強みになると思いました。
これからの医療は地域へ健康寿命の延伸を魅力的に発信することも大きな役割だと考えます。 その大切な役割を担える人材を育ててほしい。
コロナ禍を経て“出勤の必要性”が問われほぼリモートになった者も少なくない。 ここから更にスポーツ健康科学の必要性は高まると思う。
最近増えてきた学科であり、もう遅いのではないか。 ただし、公立の強み（学費が安い）を活かしての学生獲得は期待できる。
スポーツを通して健康や、地域の活性化を行ってほしいです。
内容的に社会の受け皿が少ないと感じる。 学習内容にPT、OTが必要かと。
スポーツを通して、心技体を養い、人間力向上できる環境で育った学生を積極的に採用したいと考えております。
他校は「体育科の教員育成を目的にしている」と伺うことがある。 どのような特色を出され、どのような就職をされるのかを明確にされたら良いと思います。
高齢化や予防医学の観点から必要性が高い
スポーツをしにくる学生の受け皿とらないか心配
社員の健康維持にも役に立つのではないのでしょうか
福祉施設では、高齢の方の利用者が対象です。 要介護状態となった利用者について、人間の健康という分野から見て日常生活を送る事が出来るかをサポート出来るのではないかと考えます。
体育会系が望ましい。
在学中にチーム帯同経験など積んでいただきたい
建設業などでは、外部で働く仕事为主なので、そういう仕事に対応出来る人を希望しています。 そういう仕事を希望する人が非常に少ないです。
将来のOT PTさんの補助ができたり、体力的に自信のある方なら免許取得（介護福祉士など）に向けての勉強もできますし、ライセンスがあれば、給与の面でも手当が付きよいのではないのでしょうか。

健康志向が高まる中、「予防」の観点からスポーツと健康づくりの取組みが重要になると思います。
健康寿命の延長が健全なる国家運営に寄与すると思う
スポーツを通して明るく元気な人材と多くの企業で求められると思います。
必ずしも当社の事業に合致するものではないかもしれないが多様な人材の育成と輩出をお願いしたい
ワークライフバランスが重要視される昨今、スポーツを通じ組織のリーダー（健康生活・労災防止）となる人材となって欲しい
部活動の地域移行や各種スポーツイベントの企画運営等総合的にコーディネートできる人材育成を期待する。
弊社が食品会社ですので、スポーツに関する食品の知識、開発に期待します。
インターンシップを1年生から派遣してほしい。
スポーツを通してのチームワーク
理学療法士、作業療法士の資格取得の門扉も検討して頂きたい。
スポーツ系の部員は就職時に惑うことも多いと聞く。
自らの経験を活かし、運動を通じて社会とのつながりを喜びとできる人材の育成をしてもらいたい。
健康寿命を伸ばそうと意識高い方も多くなっていて、ジム等通われる方も増えてるのでこれから活躍できる分野とを感じる。
山口県内の関係施設や団体との連携をとり、学生のときから交流し、現場で必要とする人材、資格等を取得できるように。
就職後、即戦力として活躍できる人材やプログラム開発を育成してほしい。
教員免許取得
熱中症等、製造業の現場に利用できる知識を習得されると良い。
スポーツ健康学を履修された多くの方が当社で活躍しています。
人生100年を想定し、「健康寿命を上げる」ためのスポーツの取組みを地域と共創してほしい
これから日本のスポーツレベルを上げる為には、もっと身近に学べて、取り組めることが必要だと思う。ただ、仕事の飯が食えるかといえばシビアかもしれない。
特に官が主体的に道を作ってあげれば、明るいのではないだろうか。
類似する大学も少ないと思いますので、スポーツ健康分野に関心のある学生の学習の場として選択肢を広げて貰えたらと思います。
当社はスポーツ経験豊富な学生も多数活躍しています。
是非よろしくお願い致します。
御校のご卒業生を採用できることを楽しみにしています。
スポーツの知識、キャリアを社会に生かしてほしい
特にございません。
メンタル面の事務についても学ばれると強みになると存じます。
人生100年時代と言われるが、健康寿命の貢献する専門指揮者の養成は重要になってくると思う。
現場作業員として即戦力として期待する。
将来のビジョンは現場監督。
・子供から高齢者まで幅広く健康増進に関われる人材を養成して頂きたい。
・地域のクラブ活動（スポーツ少年団や中学校の部活動）へ積極的に関われる方が増えると良いと思います。
スポーツを通じて人間形成をして欲しい。
幅広いニーズに対応できる基礎基本がしっかりしている人材（専門性より基礎学問）様々な指導対象現場に興味を持ち、成長志向が高い人材
健康経営に取組む会社も増えており、一般企業では活躍の場があるのではないかとと思う。
幅広い知識。専門的すぎない方が良いと思います。
スポーツを通して地域の活性化を実現されることを期待します。
知的な分野に加えて、体力的・実践的なカリキュラムをもって多彩に備えてわかりやすく明示してほしい。

わざわざ新たに設置する学部として、地域社会にとってそこまでニーズのある学科（学問）なのかやや疑問を感じる。
それよりも、周南工業地域に構える大学としては、理工系学部の設置および優秀なエンジニアを育成されることを期待します。
身体を動かすことが健康につながり、健康を維持することが国の経済に良い影響を及ぼすなど広い視点をもてる人間を育ててもらいたい。
スポーツのできる人材、スポーツの指導ができる人材を育ててほしい。
障がい者施設の生活指導員として、スポーツのできる人が1名ほしい。
各大学のスポーツ科は所属選手のみフォーカスされることが多いですが、スポーツに対するマネジメントや分析、情報科学が表に出るようになれば、いわゆるセミプロの方を引っぱりあげられると思う。
組織をまとめることにより、業績向上に貢献できる人材を送り出していきたいと存じます。
スポーツには色々な可能性があり、スポーツ経験で培った力は仕事においても大きな力を発揮できると思っています。
また、これからの日本は健康が注目されると思っています。
ですので、健康を広める事業を展開できる能力がつくことを期待しています。
少子高齢化が一層進む社会において、健康、運動は非常に重要性が高まってくると考えられます。
健康寿命を延ばすことや、生涯スポーツの推進などによって、地域の人々のQOLを向上させることのできる人材を育ててほしいと願います。
企業においても、健康経営の取り組みが盛んとなってきていますので、社外リソースとして、または社内人材としてどのように取り組むことができるのかなど勉強していただきたいです。
教育や子どもへの支援という目的を持った学生の獲得に期待しています。
・地元高校からの優秀なスポーツ人材の確保 ・地元の特色あるスポーツの強化（レスリング、バトミントン、ハンドボール等）
PCスキルも身に付ける
超高齢社会において、スポーツ健康科学科の学びは非常に役に立つものかと思います。
弊社では福祉用具専門相談員として、道具を通してご利用者様の生活をサポートしております。
こちらの学科で学ばれた専門知識や技能を活かしていただきたいと思います。
スポーツビジネスが拡大していく。
地域のスポーツ団体への科学的トレーニングの必要性。

人間健康科学部「福祉学科」（仮称）について
介護福祉士のプロフェッショナルを育成して、深刻な人手不足を解消してほしいです。
介護の現場では、質の悪い介護士の話をよく耳にしますので、学生時代の教育で意識づけをしてほしい。
現実問題として現場の人間が足りていない分野だと思うので、その点を学んで欲しいと思います。
バイオ系を売りにすると面白そうです。より医学に近い学問の充実。
スポーツ健康科学科にも通じることですが、健康寿命を伸ばして認知症等を予防するため、または発症しないための研究をしてほしい。
福祉をする側とされる側の意見が違うテーマを取り上げてほしい。
日本の福祉を支える人材を育ててほしい。
最近の若者は福祉といっても相談支援希望などと言うが、現場経験のない者では良い相談支援はできない。現場の介護、支援のプロを育てる学部となっていたきたい。
社会に必要とされる分野であり、知識の高度化により就職後に高い所得水準を得ることが可能となる様な教育をお願いします。
高齢化社会や格差のある社会における人材育成と介護サービスに理解があり魅力を発信できる人材育成
保育、介護のニーズはかなり高いので期待しております。
福祉人材増加の起爆剤となるような人材育成を期待
理学療法士や作業療法士の資格が取れると幅広く活躍できると思います。
現在、社会福祉業界における人材確保は、我々の業界の最大の課題となっています。
必要な職種として、保育士、児童指導員、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士等ですが、こうした資格者の育成を大いに期待します。
当社は小規模のため、栄養士、調理師の採用しかしておりません。
社会福祉主事任用資格の取得者は採用時において期待したい
学生の方の希望では、ソーシャルワークを希望される方が多く、利用者に近い現場やケアワークに興味を示される方が少ないように感じます。
ソーシャルワークを行う基盤として、現場やケアワークの重要性を認知して頂けるようなカリキュラムを希望します。
（現場実習含む）
理想と現実のギャップが大きい分野であるため、社会に進出した時に自分自身のメンタルを保つことが重要であるため、そのようなカリキュラムがあっても良いのではないのでしょうか
福祉人材は不足しており、ぜひ設置してほしい。
平均年齢層が高くなるにつれ、必要性が求められる
必要とされている施設等へ、共に活動し支援する人材を育成して頂きたいです。
地元で活躍する、福祉、介護人材の育成と輩出に力を入れていただきたいです。
看護師、介護士との養成の方が社会的ニーズは高い
介護職員初任者研修を必須としてほしい
介護福祉士取得プログラムがありますと、福祉施設などでは活躍の場が多くあると思います。
ぜひ在学中からフィールドワークを実践し、地域によって様々なニーズがあることを体感して頂きたい。
福祉のニーズは今後更に高まるものと思います。
ただ当社の業界とはミスマッチになります。
福祉都市を目指し、若者を教育していただきたいと思います。
福祉は、これからの社会では重要な分野です。人材育成だけでなく、福祉業界で働く者の地位向上と技能向上にも尽力いただける学部である事を期待します。
今後、現在においても人材が不足しており、求人を出してもなかなか応募がないのが現状です。専門的知識を習得後であれば即戦力になると思われます。
利用者さまの目線での福祉職養成に期待します。

田舎の老人施設で働きたいというケアマネジャーを育てていただきたいです。
社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士等 資格の取得
本会の職員採用は、出身学部を限定しておりません。
福祉学科のみならず、貴学学生のご応募をお待ちしております。
社会福祉士等国家資格者のニーズはますます高まっていく
福祉学科の開設は超高齢社会のニーズに合っている。
当社の事業とのマッチングも高いと考えます。
複雑化している問題を広い視野で受け止められる人材が必要
ニーズは高いと思いますが、弊社イメージは沸きません。
社会福祉法人なので、福祉について学んでいる学生さんを採用したい
障害者への対応
福祉系の学部学科が減少していく中で、新たに福祉の人材育成を行って頂ける学部学科を新設して頂ける事は、ありがたい事ですし、福祉のプロフェッショナルを1人でも多く輩出して頂ける事を期待しています。
業界における人材不足の状況は深刻だと思います。
ぜひ1人でも多くの福祉業界に携わり、そして業界へ新しい風をふかせられるような人間力の高い人材育成をお願い致します。
高齢社会におけるリーダーとして活躍できる人材を育成してほしい。
福祉学科は全国的に少なくなり、困っている。
高校にきちんとアプローチし、それなりの学生が確保できれば大いに社会に貢献できる。
福祉業界で勤務する場合、福祉の知識だけでは難しい為、精神まで学べる学科が良いと思われる。
福祉の現場では、ソーシャルワーカー的な人材よりも、ケアワーカー的な人材不足が深刻で必要とされる数も多い。
また、現実的に現場経験の有無が相談業務の内容にも影響する事も否めないと思われるので、福祉学科のめざせる資格に介護福祉士受験資格がないのはいかなものかと考える。
また、日本人の若者の絶対数にも限りがあるため、介護福祉士を目指す外国人留学生確保も検討してほしい。
高齢化社会に向け必要性が高まる
実践的実習経験による自分の就業意識の確立をさせる教育の実施
高齢化社会となってくるにあたり、福祉関連は必要不可欠と思う。
学生数がどれほど確保できるのか気になるところ。
めざせる資格として、社会福祉士を持って入社される学生の方がチェリーゴードにも多数います。
山口から入社される方も毎年1名以上いますので、安心していただければと思います。
当社での採用はないと思うが、大事な仕事の資格が取れる学部だと思う。
福祉分野において人材不足が問題となっている。
求人に対して応募が無く、現場は真綿で首をしめる様にだんだんと疲弊していつている。
公立の大学としてこの問題を解決出来るように人材育成に努めてもらいたい。
当法人は福祉施設を運営しています。
福祉人材は不足しています。
専門的知識を持った人材を採用したい。
福祉に関わる人の地位向上を目指していきたい。
介護人材が不足している。
確保に大変苦勞しているので、ぜひ介護福祉士の資格が取得できるようお願いしたい。
福祉学科の方は社会福祉士、ケアマネジャー、介護福祉士など介護系の施設には必須の分野なのでぜひ活躍してほしいです。
医療と福祉の連携が取れる人材が必要だと思います。
必ず重要になります。
マスコミに流れるハラスメントを起こさない、起こさせない学習を希望します。
今後の日本は高齢化が進むので必要だと思います。

必ずしも弊社の事業に合致しないものであるかもしれないが、多様な人材を社会に輩出していただけることを期待する。
介護福祉士、社会福祉士等の実務の資格。 初任者研修やその他社会福祉分野の資格。
これからの高齢化に向け、必要とされていくと思う
ケースワーカーとして勤務できる人材育成を期待する。
介護福祉士の資格取得ができるようなカリキュラムをお願いしたい。
これから益々需要が高まるのは間違いなく、地域に就職することを積極的に支援してもらいたい。
介護福祉士の養成をして頂きたいと思います。 若い人が夢を持って介護を担えるよう、大学と介護の現場で協力しあえると良いと思います。
寿命も上がり高齢化が進んでいるので、仕事にするにしてもプライベートにしても必要な知識だと思う
地元でもニーズを感じるが、弊社にはイメージができない
福祉という観点で、社会からのニーズは高いと思われます。 ご高齢の方や社会的弱者の方と実践的にコミュニケーションを取りながら学び、相手に配慮できるような人材に育つとよいと思いました。
高齢者への社会的な対応が望まれる
社会福祉士の資格を取得いただいて地域福祉や相談、援助に興味のある方、学校でスキルを身に付け受験していただきたい。
まさに当社の求める学部です。 ケアスタッフというスペシャリストで活躍していただきたいと考えます。
元々ニーズの高い分野ではあるため、福祉関係の仕事を志す学生を社会に送り出してもらえることを期待したいです。
マインドフルネス 心身の健康について学び、地域に貢献してほしい。
その学部で学んだ学生が他事業に就職するのではなく学んだ事を活かせる業種に就職する学生が多いとありがたいと思います。
人手不足が深刻な業界だが、新しいアイデアで対応することへの可能性に挑戦してほしい。
福祉人材不足なので、福祉の現場で働く福祉力のある学生の養成を期待しています。 弊社は児童養護施設を運営しており、ぜひ、私たちと一緒に子ども達の支援をしていただける方が増えることを願います。
社会福祉だけではなく介護福祉士の資格を得られるプログラムがあれば良い
電カルなので、PCを多少使えた方が良い。 実技よりも、責任感やチームワーク力を高められるような人を育ててほしい。
問 16 同様
学内就職セミナーや企業、業界研究セミナーがあれば参加させて頂きたいです。
貴校のご卒業生を採用できることを楽しみにしています。
現在の超高齢化社会において、介護人材のニーズはかなり高い。 ご縁があれば、多くの人材を採用したい。
どうあるべきかを考えられる、社会の中で隙間になっている部分に気づける、感性の器用さを育むなどペーパー上だけではない学びのできる学科となしてほしい。
会社で訪問介護事業を行う予定なので、専門的な知識をもった人を積極的に採用したいと考えています。
周南公立大学福祉学科を卒業された生徒さんには、周南市及び下松市管内で就職していただければ良いと思います。
対応力を身に付けるためボランティアで相談経験を積んだり、幅広い人間力を培うようなカリキュラムがある といいと思います。
社会福祉士の資格を取られ県内に就職されることを期待します。（県内就職はどの学部も共通です。）

当社では必要無いが専門の知識を持った人材を社会は多く必要としている
将来的に人材の深刻化が見込まれる福祉の専門職養成校として大いに期待します。
約3人に1人が65歳以上である高齢化社会のなか、医療従事者の養成は高まっており人材の確保は重要。時代の要請に対応した新設であると思う。
業種柄、弊社にニーズがないと考えます。
人手不足となる分野ですので、教育、育成機関が増えると心強いと思います。 事業所の運営にも関わられるような、運営にも興味を持つ人材が育つと良いと思います。
高齢者や障害者そして子どもなど社会的に弱い立場になりがちな人々への施策も人権を中心とした価値観の変化により大きく変わろうとしています。 人権意識をしっかりと身に付け課題に積極的に取り組む人材育成を期待します。
福祉に関する専門的な知識と実践に役立つスキルを身に付けて頂きたいと思います。
福祉、介護の本質を理解している人材
地域と連携して実践的な学びをされることを期待します。
看護学科は医療病院との連携ネットワークをしっかりとつくってほしい。 福祉学科はややもすると抽象的になりやすいので、具体的なカリキュラムを外部からでもわかるように明示してほしい。
介護実務にあたる人材確保が困難なため、このままでは介護職員の不足から事業継続が困難になることも危惧される。 公立大学として、周南地域の福祉を支える人材の育成をしていただきたいと思います。
福祉、介護について当法人で活躍が大いに期待できるので、即戦力としての採用を考えている。 ぜひ実習に来ていただきたい。
福祉の分野から社会を動かせるように広い視野を持ち、多方面と関わりながら責任をもって福祉の分野を充実させられる人材を育ててもらいたい。
社会福祉士の資格の取得は、卒業時および卒業後となると思うが、当園では資格取得の援助をするので就職してから資格取得という方向を考えてほしい。 福祉の世界はチームワークで行う仕事なので、豊かな円満な人格の人を育成してほしい。
高齢化社会の中、人材を養成される学科を新設されるかもしれないということは非常に有意義で、期待値が高いです。 ゆくゆくは定員を広げて、幅広く人材を集めて貴校の名を高めていっていただきたいと存じます。
年々複雑化、多様化、深刻化する福祉課題の解決に向けて、幅広く柔軟な視点を持った福祉人材の育成を期待しています。 すぐの採用予定はありませんが、ご縁がありましたら一緒に働けると良いと思います。
介護の需要曲線や障害、児童の分野において分析をすれば非常にこれから約2040年までは需要が一定担保できることがわかるが供給側の人材が圧倒的に不足することがわかる。 3Kであるが、政府としても重要な業界と位置づけており、また世界的にみても諸外国にまだ優位性がある業界である。 また、「地域貢献」のニーズの中で福祉は一部であるとPRすれば若者の関心も引けるのではないか。
知識を活用し、交渉を重ねながら課題を解決することにより業績向上に貢献できる人材を送り出していただきたいと存じます。
私は徳山大学の時に福祉情報学部在籍していました。 現在は福祉とは異なる業界の企業で勤務していますが、高齢社会に突入する日本において福祉を学んでいた事がとても役に立っています。ですので、これからの日本の重要課題に向き合う学科として期待しています。
福祉は様々な立場の関係者と円滑なコミュニケーションを取りながら問題解決に取り組むという能力や方法を学べると期待します。そのような能力は、福祉業界のみならず一般企業でも大いに役立つと思います。
社会福祉の幅広い知識と熱意を持った学生の獲得に期待しています。 そのために施設として、大学にできる支援があれば協力して行いたいです。

・福祉学科、看護学科については幅広く対応できる人材の育成 (リハビリテーション関連の学科の検討等)
福祉力のある人材はこれからの時代、ますます重要度が高まっていくかと思います。 また ICT や最新機器の導入等、エビデンスに基づく科学的な介護を行っていくうえでは情報技術のある若い世代の方々への期待は大きいものがあります。 道具を活用しながら、サービスの質の向上、介護をする側の負担の軽減につなげていただきたいと思います。 福祉用具や最新機器等で何かお役に立てることがありましたら幸いです。
福祉現場、福祉情報への情報機器の導入を拡大していく

情報科学部「情報科学科」（仮称）について
専門性の高くない SE のニーズが高まっているので、スペックが中間層の SE 候補をたくさん生み出して、企業と連携して就職まで結びつけられるようなポジションの学部になることを期待します。
Excel、Word、PowerPoint 等の知識があるとより良いのではないかと思います。
中小企業にも必要な人材となると思います。
おもいきって滋賀大学のデータサイエンス学部のような学部の方が面白そうです。 社会人コースがあれば聴講したいです。
今後の DX 化で一層情報については重視されるので、デジタル社会を生き抜くためにどうすれば良いか、地元中小企業へのアドバイスができることを期待。
必要ないように思う。数学か物理の面から情報科学を研究するのが良いように思う
IT 企業での即戦力となる人材の育成をしてほしい。 基本情報、応用情報は 2 年生までに取得し、3 年以降はプラスアルファの資格に挑戦してもらいたい。
弊社においては情報学部の卒業生様は面接を是非させて頂きたい要望でありますので新学部新設後ご連絡をお待ちしております。よろしくお願いいたします。
AI、DX 等必要な人材がほしい
ビッグデータを扱うためにデータベースの構造を理解してほしい。 (システム開発でつまづきやすい部分のため)
スポーツも経験がある PC だけではない人材
日本が遅れている分野であり、人材育成に期待しています。
情報系に詳しい学生さんが弊社に入社することを期待しております。
DX 推進に伴い社内 SE としての求人募集を予定しておりますので将来的にお声掛けさせて頂きたく存じます。
よくある感じにならないようにしてほしい。
これからの社会で最も必要とされる分野だと思います。
近年、DX 化が進んでおりますのでニーズは高いと思われます。
DX 人材など今後必要とされる人材の育成を期待しています。
自動車学校は特に IT 化が遅れている業種なので、SNS、HP 戦略、社内ネットワークの改善に興味のある学生に期待しております。IT 関連に特化した専属部署が弊社にはあります。
ゲーム開発以外のデータベースやネットワーク（通信）などに強い人材の育成に期待します。
製造業において IT エンジニアの人材確保は年々厳しさが増えています。 中小企業の中にも優れた技術力を持った会社も多くあり、IT エンジニアが増えることによって採用できる可能性も高まりますので、地元での人材育成を期待しています。
情報系の企業だけでなく、一般企業にも情報系の社員が必要できる。 一般企業では、ネットワーク構築、アプリケーション設定だけでなく会計や勤怠をある程度理解しなければ

ばシステム設計をすることができないため、会計や労務の基礎的なカリキュラムを導入すると良いと思います。
情報化社会への今後の対応
柔軟なシステム開発ができる人材
IT エンジニアが不足しており、技術レベルの高い学生の採用が社内でも課題となっているため
福祉業界の IT 化に対応できる人材の育成をお願いしたいです。
情報科学科でどういう人材を育成するのかイメージがわからない
データサイエンティストや SE を募集しているので、専門的に学んだ学生を是非採用したいと思います。
エンジニアのニーズはあると思いますが、実用的な採用は見込めないかと思っています。
プログラミング資格を持った学生であれば採用したい。
データの活用のしかた、分析されたデータから何を導き出すかが学べると面白いと感じました。
これからの情報社会において、必要不可欠な人材であるにもかかわらず企業では部署や部内の位置づけがない状況です。 情報処理が企業の利益に直結している事を知らしめる学科にして下さい。 建設業でも電子入札、見積等書類の PDF 化、出退勤管理をスマホで処理する等、デジタル化が進んでいますので今後も必要な人材になると思います。
実用的なプログラミングやエクセル VBA のスキル育成が望ましい。 コミュニケーション力の事前育成に期待したい（学部生の 4 年間で）
電気設備工事の会社のため、技術職を必要とする。 本人の希望に合う職種であるかは疑問。 建設業は選択に入らないのでは？
IT を用いて、企業や地域の課題を解決できる IT リテラシーの高い人材を育成してほしい。
IT 部門がありますので
中小企業の DX に取り組んでもらえる人材を輩出していただければ有難いです。
卒業時点でどれほどのスキルが備わるかが分からないが、データを分析した後に、それを基に応用し具体的な行動目標の設定までができる人材であればニーズは高いのではないかと思います。
・実務イメージした学習や実習の実施 ・FE 以上の資格取得 ・大学と企業の協定型インターンシップの実施
DX に貢献していただきたい
弊社であれば、高齢者である農業従事者へ情報をどのように発信するか、また IT、IoT に対しての教育をどのように提案するかが重要になるため、提案力、応用力が必要であると考えます。
DX を推進するデジタル人材の確保が必要になっていることから情報科学科の育成に期待したい。
高齢者が好きであれば採用はしたいが、情報化学科の勉強が直接活かされるかというところではない
世の中の DX 化や情報スピードの変化に対応できる人材としてはもちろんのこと、「対人」に関してのスキルも同時に醸成しながら学びを深めてほしい。

IT、IoT、DX など企業における IT リテラシーを学んでほしい
どこにでもある
弊社は検査装置の自社開発そしてソフトも自社開発を行っています。 基礎知識があれば様々なシーンで活躍が期待できます。 どの学部学科も協働力を身に付けた人間を目指していくことでどの分野でも活躍できると思っています。
情報分野は需要は大きいと聞いていますが、殆どが大都市勤務が多い。（リモートも含めて） お示しの3分野はITの技術（資格）とは少し異なるが、その内容が分からないと思います。 また「地域課題」に対応する人材が地域に残る工夫があれば良いと思います。
情報プログラマー等、今後ますます必要性が高くなるため
卒業される学生様の進路はPG、SE等が多いと想像致しますが、ある一定規模の会社ではどのような業界でも社内システムの保守管理、企画を行う社内SEのような人材を求めている企業は多いと思います。 学生様に対して「各種業界」×「大学で学んだこと」が活かせる企業も多くあるのだという事を知って頂く、またはご指導頂けると幸いに存じます。
・情報系の学科を普段している大学が多い中、福祉同様にどれだけ確保できるかが重要 ・理系の人材不足という観点からは非常に良いと思う。
プログラム言語も必要ですが、ハード面の勉強もして下さい。 サーバの構成、PCの組み立て、インフラの組み方など。 課題でアプリゲームを作るのも望ましいです。
デジタル人材は国内自体に少ないため、プログラミングの基礎知識をベースにツール導入に向けた企画力や新規サービスの創出など育成を期待します。
DXやIT化を望んでいて動けない企業が多数あります。 ベンチャーなど会社の大小でなく、やりたいことをすすめられる人材育成
ITスキルも大切だが、それを活かすためのコミュニケーションスキルも併せて学べるとよいと思う
福祉施設の分野でもIT化が進んでいます。 利用者情報、サービス内容等ほとんどがデータ化されています。 情報処理を正しく行い、今後の対応に活かしていけるのではないかと考えております。 いずれにしても現場を知らずして先には進めないなと思います。
・デジタル社会のこれからを支える人材を期待する ・CADデータなどの活用を考えていただければ、建築系も幅広く社会に役立つのではないかと
情報系の資格取得を推奨いただきたいです。
経済（経理）関連知識も少しでも習得できれば良いと思います。
情報学科の方の採用も近年福祉業界ではIT化が進んでいますので必要になりつつあります。 介護記録もコンピューター化されていますし、レセプトも電子通信になっています。 徐々に必要とされるのではないのでしょうか。
弊社のグループ会社でも、IT関連の分野に力を入れておりますので 情報系に強い学生様がいらっしゃることは

情報を活かし商品販売していただける人材を育ててほしい。
ツールと講師次第かな？
今の時代は情報社会でありますので、ITなどを先に勉強していればなお多くの企業に求められると思います。
AI化に対応しうるリテラシーを持った学生を期待したい
弊社の社員の大半がエンジニアであるため、基本情報などの資格を有していないと就職活動時に専門学生に劣るため、資格の質、数に期待しております。 (特に主要都市の専門学校は資格数が多いです。)
システム系の即戦力を期待します。
情報化の現代、SE職は中小企業も求めています。 プログラミング基礎、WEBデザイン、アプリケーション開発、市販ソフトカスタマイズの知識を持つ人材となってほしい。
働き方の変化において、新技術などが出てくると思う。 それに対応する人材育成が望まれる。
自治体 DX の推進に対応できる人材育成を期待する
・分析能力/・データ処理能力
育てた人材を地域に定着させる取り組みを学校全体で行ってほしい。
バックヤードの人材として
IT人材はこれからもっと必要だと思うので、期待大である。
データの活用において地域や企業がどのような問題を解決できるかを見つけて考える力も養われることを期待します。
義務教育学校との交流の推進
やはり4年間学んだ基礎がある方は、戦力としてぜひ来ていただきたい人材だと思います。 開発言語を学ぶ方は多いですが、サーバやネットワーク等 IT インフラに強い方も多く求められている傾向です。ぜひ採用につながればと考えております。
最先端の技術の知識/技術系資格の取得
IoT や DX 等、今後に活用できる知識を習得されると良い。
介護と DX は今まさに求められるシナジーです。 入社後、現場の課題をしっかりと認識していただき、当社で活躍してくださることを期待しております。
メタバース等、中高年には理解しづらい時代となる。 情報格差が広がらないよう地域を底上げしてほしい。
専門的なスキルを習得して、福祉介護人材の社会での価値を高められることに期待したい
基礎的な知識だけでなく、実践的な知識を学んでもらい、即戦力のある学生さんを育てて欲しい。
DXを企業に取り込むことが必要な世の中、学んだことがすばやく実践に活かせる学びを提供してほしい。
3D データも扱える学生がいると頼もしいです (DX 等がからんだ)

貴校のご卒業生を採用出来ることを楽しみにしています。
宿泊業において、IT やシステムは日進月歩で進んでおります。 これからの時代、「情報科学科」出身のホテルマンという人材がさらに求められてくると考えられます。
・SNS で発信したいので、活躍してほしい ・数値などを Data 化して活用したい
弊社の事業内容と一致したところもありそうなので今後注目してみたいと思う
半導体分野のカリキュラム
・専門家不足が現在も言われており当分この傾向は続くと思われる
デジタル社会への切り替えがまだまだ進んでいないので貴学で学んだ学生は入社後は活かせると思います が、要望に応えるための理解力、コミュニケーション力も必要なのでそこも学べると尚更良いと答えます。
DX は新たなビジネスモデルを創出していくことが期待でき、それを支える情報技術者の養成、IT を用いた課題解決能力のある人材養成に即した学部で期待できる
業種柄、弊社にニーズがないと考えます。
様々な情報収集力と分析力/それを自社マーケティングに活かせる人材
この4つの学科から弊社が求める人材はこの学科になると思います
IT システム等の知識を学生の皆様が身に付けられること
IT 社会で活躍する人材を育成されることを期待します。
数理系につよい人材を育成してほしい。
就職後、即戦力として活躍できるように実践的な教育を実施してほしい。 新たな技術、分野に柔軟に対応できるよう幅広い領域の基礎学習を作って欲しい。 学問のみならず、人間的にも成長できるような教育も取り入れて欲しい。
システムエンジニア養成へ向けての多彩なカリキュラムコースの拡充が必要だと思います。
・地元企業インターンシップへの参加（単位付与） ・学内企業説明会の開催（①一つの業界に特化 ②様々な業界を集める） ・地元企業とのコラボレーション（学生ならではの視点をいかした商品企画等） ・地元に新設される情報系の学部学科として、将来的なキャリアイメージ等含め情報交換を行いたい。
地方の会社は平均年齢が高い傾向にあるため、情報機器やシステムに関して困っている場合も多いと思いますので、若い方でそういった知識を持たれている学生さんの需要はかなり高いと考えます。
情報と経営を理解できると、IT 系の企業で役に立つと思います。 これからはどちらかの視点が欠けていると答えにたどりつかない可能性があります。
業界でも、デジタルソリューションの波が訪れている。他の企業体では考えられない最先端を走るエンジニアとして活躍していただきたい。
各方面で活躍が期待されています。責任のある仕事をやりとげられるよう知識を習得してもらいたいと思います。
パソコンを通しての経理のできる人材がほしい。施設において、今後は総務職員の役割は大きい。

システム屋としてベンダーだけでなく各企業に新卒で（特に情報、IT 関連が弱い会社）なんでも屋さんとして入る人材も需要があるのではないか。 地方の中小企業ではメールが使えないというのが当たり前であり、生産性の低下も招いて首都圏との差が広がる一方である。
現場の課題を的確に把握し粘り強く課題解決に取り組むことにより業績向上に貢献できる人材を送り出していただきたいと存じます。
今後の社会で非常に重要で求められる知識、技能となってくると思います。 少子化の中では少ない人数で生産性を高めて価値を生んでいく経営が求められ、その際にデジタルスキルは非常に役立ちます。 具体的な技術を学ぶことももちろんですが、課題を発見し、その課題をどのようなソリューションで取り組むことがベストなのかを検討するような体験もしっかりと行ってほしいです。
ネットワーク、通信インフラの構造の知識に長けた人材の育成。無線の知識に長けた人材の育成。 また、学生以外でもそういった講義が受けられるなら受講したい。
・システム関連については、地元中小企業にも採用の需要があると思われるので、地元の人材を地元採用できるような連携、仕組みづくり
一般常識も身に付ける コミュニケーション能力も
介護業界においても、ICT や最新機器等の活用でより一層データに基づいた根拠が求められています。 情報科学科での学びはどの業界においてもニーズが高いかと思います。
具体的業務への情報機器の応用を中軸にする必要がある。

全体集計結果

※パーセンテージはいずれも、小数点第2位を四捨五入し記載。

問1 貴社・貴団体の主たる業種をお答えください（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
建設業	84	10.7%
製造業	130	16.6%
電気、ガス、熱供給	6	0.8%
情報通信業	31	4.0%
運輸業、郵便業	30	3.8%
卸売業・小売業	128	16.4%
金融業・保険業	10	1.3%
不動産・物品賃貸業	14	1.8%
宿泊業、飲食サービス業	13	1.7%
生活関連サービス業	11	1.4%
その他サービス業	81	10.4%
教育・学習支援	19	2.4%
医療・病院	47	6.0%
社会福祉施設・事業所	121	15.5%
公務	21	2.7%
その他	34	4.3%
無回答	2	0.3%
合計	782	100.0%

問2 貴社・貴団体の所在地についてお教えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
北海道	3	0.4%
青森県	0	0.0%
岩手県	0	0.0%
宮城県	1	0.1%
秋田県	0	0.0%
山形県	0	0.0%
福島県	1	0.1%
茨城県	2	0.3%
栃木県	1	0.1%
群馬県	1	0.1%

【資料11】

埼玉県	4	0.5%
千葉県	4	0.5%
東京都	49	6.3%
神奈川県	3	0.4%
新潟県	1	0.1%
富山県	1	0.1%
石川県	0	0.0%
福井県	0	0.0%
山梨県	0	0.0%
長野県	0	0.0%
岐阜県	2	0.3%
静岡県	3	0.4%
愛知県	9	1.2%
三重県	1	0.1%
滋賀県	0	0.0%
京都府	7	0.9%
大阪府	20	2.6%
兵庫県	10	1.3%
奈良県	1	0.1%
和歌山県	0	0.0%
鳥取県	7	0.9%
島根県	9	1.2%
岡山県	21	2.7%
広島県	114	14.6%
山口県	377	48.2%
徳島県	3	0.4%
香川県	10	1.3%
愛媛県	17	2.2%
高知県	2	0.3%
福岡県	71	9.1%
佐賀県	3	0.4%
長崎県	1	0.1%
熊本県	3	0.4%
大分県	5	0.6%
宮崎県	0	0.0%
鹿児島県	5	0.6%

沖縄県	0	0.0%
無回答	10	1.3%
合計	782	100.0%

問3 貴社・貴団体の従業員規模をお答えください（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
～99 人	306	39.1%
100～299 人	203	26.0%
300～499 人	80	10.2%
500～999 人	74	9.5%
1,000 人以上	100	12.8%
無回答	19	2.4%
合計	782	100.0%

問4 周南公立大学が設置構想中の経済経営学部「経済経営学科」（仮称）で養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
人材の社会的ニーズは高い	433	55.4%
どちらとも言えない	310	39.6%
人材の社会的ニーズは高くない	36	4.6%
無回答	3	0.4%
合計	782	100.0%

問5 経済経営学部「経済経営学科」（仮称）の卒業生を採用したいですか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
採用したい	383	49.0%
採用しない	70	9.0%
わからない	328	41.9%
無回答	1	0.1%
合計	782	100.0%

問6 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
1名	80	20.9%
2名	54	14.1%
3名	19	5.0%
4名	1	0.3%
5名以上	37	9.7%
人数は未定だが最低1名	190	49.6%
無回答	2	0.5%
合計	383	100.0%

問7 周南公立大学が設置構想中の人間健康科学部「スポーツ健康科学科」（仮称）で養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
人材の社会的ニーズは高い	370	47.3%
どちらとも言えない	359	45.9%
人材の社会的ニーズは高くない	45	5.8%
無回答	8	1.0%
合計	782	100.0%

問8 人間健康科学部「スポーツ健康科学科」（仮称）の卒業生を採用したいですか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
採用したい	282	36.1%
採用しない	114	14.6%
わからない	382	48.8%
無回答	4	0.5%
合計	782	100.0%

問 9 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの 1 つにマーク）

選択肢	件数	構成比
1 名	44	15.6%
2 名	40	14.2%
3 名	11	3.9%
4 名	4	1.4%
5 名以上	33	11.7%
人数は未定だが最低 1 名	149	52.8%
無回答	1	0.4%
合計	282	100.0%

問 1 0 周南公立大学が設置構想中の人間健康科学部「福祉学科」（仮称）で養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか（あてはまるもの 1 つにマーク）

選択肢	件数	構成比
人材の社会的ニーズは高い	601	76.9%
どちらとも言えない	166	21.2%
人材の社会的ニーズは高くない	10	1.3%
無回答	5	0.6%
合計	782	100.0%

問 1 1 人間健康科学部「福祉学科」（仮称）の卒業生を採用したいですか。（あてはまるもの 1 つにマーク）

選択肢	件数	構成比
採用したい	297	38.0%
採用しない	125	16.0%
わからない	355	45.4%
無回答	5	0.6%
合計	782	100.0%

問 1 2 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの 1 つにマーク）

選択肢	件数	構成比
1 名	46	15.5%
2 名	31	10.4%
3 名	23	7.7%
4 名	2	0.7%
5 名以上	39	13.1%
人数は未定だが最低 1 名	155	52.2%
無回答	1	0.3%
合計	297	100.0%

問 1 3 周南公立大学が設置構想中の情報科学部「情報科学科」（仮称）で養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか（あてはまるもの 1 つにマーク）

選択肢	件数	構成比
人材の社会的ニーズは高い	564	72.1%
どちらとも言えない	204	26.1%
人材の社会的ニーズは高くない	7	0.9%
無回答	7	0.9%
合計	782	100.0%

問 1 4 情報科学部「情報科学科」（仮称）の卒業生を採用したいですか。（あてはまるもの 1 つにマーク）

選択肢	件数	構成比
採用したい	358	45.8%
採用しない	72	9.2%
わからない	347	44.4%
無回答	5	0.6%
合計	782	100.0%

問 1 5 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの 1 つにマーク）

選択肢	件数	構成比
1 名	106	29.6%
2 名	30	8.4%
3 名	12	3.4%
4 名	3	0.8%
5 名以上	30	8.4%
人数は未定だが最低 1 名	175	48.9%
無回答	2	0.6%
合計	358	100.0%

【資料】周南公立大学 3学部4学科 アンケート調査用紙



周南公立大学 新設学部学科設置構想についての採用意向アンケート調査 (対象：人事・採用ご担当者様)

周南公立大学（山口県周南市）は、2024年4月に経済経営学部「経済経営学科」、人間健康学部「スポーツ健康科学科」、「福祉学科」、情報科学部「情報科学科」（すべて仮称）の開設を構想しています。本学ではこのアンケート調査を通して、将来的に卒業生の採用をご検討いただく皆様から率直なご意見をお伺いし、さらなる計画の充実を図って参りたいと考えております。ご回答いただいた情報は当該学部学科の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。アンケート調査へのご協力を謹んでお願い申し上げます。

※このアンケート調査は周南公立大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。
※リーフレット及びアンケートに記載されている当該学部学科の内容については予定であり、変更される可能性があります。

【アンケート記入にあたっての注意事項】

記入は必ずシャープペンシル、または黒鉛筆を使用し、訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
※正しい回答のように丁寧にマークしてください。誤った回答の場合、正確に読み込めず判断できない場合があります。



問 1 貴社・貴団体の主たる業種をお答えください（あてはまるもの1つにマーク）

- | | | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|--|
| ☐ 建設業 | ☐ 製造業 | ☐ 電気、ガス、熱供給 | ☐ 情報通信業 |
| ☐ 運輸業、郵便業 | ☐ 卸売業・小売業 | ☐ 金融業・保険業 | ☐ 不動産・物品賃貸業 |
| ☐ 宿泊業、飲食サービス業 | ☐ 生活関連サービス業 | ☐ その他サービス業 | ☐ 教育・学習支援 |
| ☐ 医療・病院 | ☐ 社会福祉施設・事業所 | ☐ 公務 | ☐ その他 <input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/> |

問 2 貴社・貴団体の所在地についてお教えてください。（あてはまるもの1つにマーク）

- | | | | | | | |
|---------------------------|----------------------------|---------------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|
| ☐ 北海道 | ☐ 青森県 | ☐ 岩手県 | ☐ 宮城県 | ☐ 秋田県 | ☐ 山形県 | ☐ 福島県 |
| ☐ 茨城県 | ☐ 栃木県 | ☐ 群馬県 | ☐ 埼玉県 | ☐ 千葉県 | ☐ 東京都 | ☐ 神奈川県 |
| ☐ 新潟県 | ☐ 富山県 | ☐ 石川県 | ☐ 福井県 | ☐ 山梨県 | ☐ 長野県 | ☐ 岐阜県 |
| ☐ 静岡県 | ☐ 愛知県 | ☐ 三重県 | ☐ 滋賀県 | ☐ 京都府 | ☐ 大阪府 | ☐ 兵庫県 |
| ☐ 奈良県 | ☐ 和歌山県 | ☐ 鳥取県 | ☐ 島根県 | ☐ 岡山県 | ☐ 広島県 | ☐ 山口県 |
| ☐ 徳島県 | ☐ 香川県 | ☐ 愛媛県 | ☐ 高知県 | ☐ 福岡県 | ☐ 佐賀県 | ☐ 長崎県 |
| ☐ 熊本県 | ☐ 大分県 | ☐ 宮崎県 | ☐ 鹿児島県 | ☐ 沖縄県 | | |

問 3 貴社・貴団体の従業員規模をお答えください（あてはまるもの1つにマーク）

- ☐ ～99人 ☐ 100～299人 ☐ 300～499人 ☐ 500～999人 ☐ 1,000人以上

以降の設問は別紙リーフレットをご覧ください。

問 4 周南公立大学が設置構想中の経済経営学部「経済経営学科」（仮称）で養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか（あてはまるもの1つにマーク）

- ☐ 人材の社会的ニーズは高い ☐ どちらとも言えない ☐ 人材の社会的ニーズは高くない

問 5 経済経営学部「経済経営学科」（仮称）の卒業生を採用したいですか。（あてはまるもの1つにマーク）

- ☐ 採用したい ☐ 採用しない ☐ わからない





<<問6は、問5で「採用したい」と回答された方のみにお尋ねします。>>

問6 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

☐ 1名 ☐ 2名 ☐ 3名 ☐ 4名 ☐ 5名以上 ☐ 人数は未定だが最低1名

問7 周南公立大学が設置構想中の人間健康科学部「スポーツ健康科学科」（仮称）で養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか（あてはまるもの1つにマーク）

☐ 人材の社会的ニーズは高い ☐ どちらとも言えない ☐ 人材の社会的ニーズは高くない

問8 人間健康科学部「スポーツ健康科学科」（仮称）の卒業生を採用したいですか。（あてはまるもの1つにマーク）

☐ 採用したい ☐ 採用しない ☐ わからない

<<問9は、問8で「採用したい」と回答された方のみにお尋ねします。>>

問9 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

☐ 1名 ☐ 2名 ☐ 3名 ☐ 4名 ☐ 5名以上 ☐ 人数は未定だが最低1名

問10 周南公立大学が設置構想中の人間健康科学部「福祉学科」（仮称）で養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか（あてはまるもの1つにマーク）

☐ 人材の社会的ニーズは高い ☐ どちらとも言えない ☐ 人材の社会的ニーズは高くない

問11 人間健康科学部「福祉学科」（仮称）の卒業生を採用したいですか。（あてはまるもの1つにマーク）

☐ 採用したい ☐ 採用しない ☐ わからない

<<問12は、問11で「採用したい」と回答された方のみにお尋ねします。>>

問12 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

☐ 1名 ☐ 2名 ☐ 3名 ☐ 4名 ☐ 5名以上 ☐ 人数は未定だが最低1名

問13 周南公立大学が設置構想中の情報科学部「情報科学科」（仮称）で養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか（あてはまるもの1つにマーク）

☐ 人材の社会的ニーズは高い ☐ どちらとも言えない ☐ 人材の社会的ニーズは高くない

問14 情報科学部「情報科学科」（仮称）の卒業生を採用したいですか。（あてはまるもの1つにマーク）

☐ 採用したい ☐ 採用しない ☐ わからない

<<問15は、問14で「採用したい」と回答された方のみにお尋ねします。>>

問15 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

☐ 1名 ☐ 2名 ☐ 3名 ☐ 4名 ☐ 5名以上 ☐ 人数は未定だが最低1名





以下の問16～問19では、周南公立大学が設置構想中の新設学部学科に対して期待される点やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

問 16 経済経営学部「経済経営学科」（仮称）について

問 17 人間健康科学部「スポーツ健康科学科」（仮称）について

問 18 人間健康科学部「福祉学科」（仮称）について

問 19 情報科学部「情報科学科」（仮称）について

質問は以上です。ご回答ありがとうございました。



【資料】学部学科概要

地域の成長エンジンとして
社会が求める人材を常に意識し
生涯に渡って活かせる学びを提供します



2022年4月に
開学しました！
(旧徳山大学)

周南公立大学は 新しい学部学科を構想中です

学部名	学科名
経済学部	- 現代経済学科 - ビジネス戦略学科
福祉情報学部	人間コミュニケーション学科

改組後 学部名	学科名
経済経営学部	経済経営学科(160名)
情報科学部	情報科学科(100名)
人間健康科学部	- スポーツ健康科学科(80名) - 看護学科(80名) - 福祉学科(60名)

2024年4月開設(仮称・設置構想中)
※記載の内容は現在計画中であり、変更される可能性があります。

2024年4月の 学部学科改編のポイント

- 3つの学部を開設、カリキュラムも一新
これまでの学びを再編し、新しく情報科学や看護学が学べるように。2学部3学科制から3学部5学科制となり専門性の高い学びを提供
- 「地域に求められる」学びを調査・研究
周南市の協力のもと、地元企業100社にアンケートを実施。必要とする人材像のアンケート結果をもとに、新学部・新学科を設置
- 学生たちの将来像に合わせた学びを展開
学生たちが社会で活躍する20、30年後を意識した教育を提供し、将来像に向けて学生自らが意欲的に学べるカリキュラムを導入

学びの 特徴

1

「変化する時代」に対応するために 育てる"3つの力"

1 地域の課題×課題解決力

学生が主体となって地域の身近な問題を発見し、解決に向けての調査・分析をはじめ、具体的解決策の提案を行うまでの一連の手法を必修科目として学修します。全ての学生が、課題発見能力と解決能力を身につけます。

2 フィールドワーク×実践力

アーリー・エクスポージャー（早期体験実習）を通して、キャリア形成の意識醸成と、必要となる知識・技能への気付きを得ます。希望・適性を明確に把握して、進路を選択する力と実社会に必要な実践力を身につけます。

3 データ×情報活用能力

数理・データサイエンス・AIの基礎的素養に関する科目を通し、地域課題の発見・解決に重要な定量的な評価の手法を学修します。課題の把握、解決目標の設定を、エビデンスに基づき論理的に行う能力を身につけます。

新

2024年4月からの

学部・学科

※設置構想中

※学部、学科名は仮称

養成する 人材像

経済経営学部

経済経営学科

経済学、経営学の基礎・応用の学修を通して、地域社会の課題を発見し、解決方法を提言、実行できる地域社会の礎となる人材を養成



1 現代社会や企業経営の課題を発見、解決できる人材を養成

3つの履修プログラム（地域経済経営、グローバルビジネス、地域ビジネスデザイン）を用意し、各プログラムに沿って科目履修することで専門性を深めます。3つのプログラムを横断して履修し、知識や視野を広げることが可能です。

2 課題解決や目的達成にリーダーシップを発揮できる人材を養成

少人数ゼミ（教養ゼミ、地域ゼミ、専門ゼミ・II）などにグループワークやフィールドワークを積極的に導入。課題解決や事業目的の達成に必要なリーダーシップを発揮し、他者と連携・協働できる力を養います。

こんな
時代に
こんな
時代に
-時代に合わせた情報分野もしっかり学びたい
-数値から情報を分析する力を身につけたい

めざせる資格

中学校教諭一種免許状（国）（社会）／高等学校教諭一種免許状（国）（地理歴史・公民）／高等学校教諭一種免許状（国）（商業）／経済学検定／統計検定ほか

想定される進路

公務員／金融機関／インフラ企業／公益企業／一般企業（地元企業等）／グローバル企業／製造業／産社／サービス業／商品開発／事業開発推進者／起業家／ビジネスコンサルタントほか

類似する大学・学部

山口大学経済学部、下関市立大学経済学部

情報科学部

情報科学科

地方創生に資するビジネスアナリスト、データサイエンティスト、情報エンジニアなど持続可能な地域産業を創るエキスパートを養成



1 これからのデジタル社会を支える情報技術者を養成

これからのデジタル社会を支える鍵となる、AI、データサイエンス、IoT、ビッグデータ解析、またこれらを活用したビジネス展開について学修し、ITの最前線で活躍するための実践的能力を身につけます。

2 ITを用いた課題解決能力のある人材を養成

「ビジネスアナリティクス」、「データサイエンス」、「情報エンジニアリング」の3分野において、IT系企業等で実務経験を積んだ教員から、ITで地域課題を発見・解決する手法を学び課題解決能力を身につけます。

こんな
時代に
こんな
時代に
-AI、データサイエンスなどに興味がある
-情報技術者として地域の発展に貢献したい

めざせる資格

データサイエンティスト検定／統計検定データサイエンス基礎／統計検定データサイエンス発展ほか

想定される進路

データアナリスト／プロジェクトマネージャー／ビジネスデザイナー／データサイエンティスト／データアナリスト／データエンジニア／システムエンジニア／プログラマー／ネットワークエンジニア／WEBエンジニアほか

類似する大学・学部

広島大学情報科学部、広島市立大学情報科学部

学びの特徴 2

地域のwell-being向上のために、 "他業種協働"を推進

well-being

個人の権利や自己実現が保障され、身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味する概念。幸福と翻訳されることも多い。

自分の学部における専門分野だけではなく、他分野の科目を履修することで幅広い学びを得ることができます。



連携の例

- 経営・情報の理論を習得し、仮説・検証・データに基づく企業経営に貢献できる人材の育成
- データ分析を得意とし、エビデンスに基づく医療・福祉・健康増進を提供できる人材をめざす
- 今後の発展が見込まれる健康産業に関する、確かな知識・視点を有する経営者をめざす

人間健康科学部

スポーツ健康科学科

多様な健康状態、生活環境にある人々に専門知識と技能をもって身体運動を促進させ、健康寿命の延伸に貢献する専門職者を養成



1 人と人をつなぐ、地域健康増進のリーダーを養成
「健康運動」「アスリートサポート」「スポーツ健康マネジメント」の3つの履修プログラムを設け、身体運動を通じて学びの場でもある地域社会と積極的に関わり、人と人との交流を促進するリーダーを養成します。

2 地域住民の健康寿命の延伸に貢献する専門職者を養成
人々の健康で幸福な生活の実現にとって不可欠な、医学・保健衛生学の基礎を学び、これらと密接に関わるスポーツ健康科学を基礎から応用まで体系的に学ぶことで、地域の健康寿命の延伸に貢献できる能力を養います。

こんな
学びに
・公立大学でスポーツ健康科学を学びたい
・スポーツで地域を活性化させたい

めざせる資格

中学校教諭一種免許状(国)(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(国)(保健体育)/健康運動実践指導者受験資格/健康運動指導士受験資格/公認スポーツ指導者資格/アシスタントマネージャー受験資格ほか

想定される進路

病院や福祉施設、健康増進施設等での運動指導/トップスポーツ選手のコンディショニングケア/地域で展開されるスポーツクラブの運営/スポーツの団体・選手を支えるスポーツメーカーほか

類似する大学・学部
大阪大学人間健康学部

看護学科

人々が病気や障がいの有無にかかわらず、生涯にわたって、その人らしい豊かな健康生活を実現することを支える看護師の養成



1 複雑化・多様化する保健医療提供体制に対応できる人材
あらゆる健康状態の人々に対する看護場面を再現したシミュレーション教育および医療機関、在宅ケア、地域のさまざまな保健福祉施設での実習を通して、ひとりに応じた質の高い看護実践能力を身につけます。

2 地域の健康生活を創生する実践力を備えた人材
チーム医療における多職種との連携はもとより他職種との連携を学ぶことによって、地域の保健、医療における課題を見出し、あらゆる健康状態にある地域住民の豊かな健康生活をつくり出す実践力を身につけます。

こんな
学びに
・看護の力で病気や障がいをもつ人を支えたい
・他職種と協働し地域の健康生活を支えたい

めざせる資格

看護師(国)受験資格/保健師(国)受験資格(看護課程修了)/第一種衛生管理員(国)(保健師養成課程修了者のみ)/看護教諭二種免許状(国)(保健師養成課程修了者のみ)

想定される進路

医療機関(病院・診療所)/保健所/保健センター/訪問看護ステーション/地域包括支援センター/企業の健康増進センター/大学(大学院、助産師養成所)ほか

類似する大学・学部

山口県立大学看護学専攻、県立広島大学保健福祉学部

福祉学科

福祉の視点から地域を繋ぎ、さまざまな社会的資源を用いることで地域課題を解決できる、福祉力のある人材を養成



1 福祉力のあるコンシェルジュ・福祉力のある生活の案内人
ソーシャルワークを基盤に保育や介護といったケアワークの専門知識や技能を備え、どのような健康状態にあっても、誰しも、住み慣れた地域で、安心して豊かに暮らせるための福祉支援を提供できる能力を身につけます。

2 地域資源を活かし円滑な地域づくりに寄与する人材を養成
地域課題を発見し、解決に必要な地域資源と結びつけるネットワークの構築能力はもとより、独自に社会的資源を作り出すための鋭い洞察力および柔軟な発想力の素地と、高いコミュニケーション能力を身につけます。

こんな
学びに
・地域と連携した、実践的な福祉を学びたい
・多様な世代の人に関わる福祉を学びたい

めざせる資格

社会福祉士(国)受験資格/社会福祉士主任任用資格/保育士(国)受験資格(選択制)/介護職員初任者研修(選択制)

想定される進路

児童相談所(児童福祉司)/児童養護施設(児童指導員)/地域包括支援センター(社会福祉士)/介護保険施設(生活相談員)/社会福祉協議会(福祉活動専門員)/公立・民間保育所(保育士)/福祉関連産業の企業ほか

類似する大学・学部

山口県立大学社会福祉学部、高知県立大学社会福祉学部

入学金・授業料 (2022年度実績)

	入学金	授業料
市外在住の方	282,000円	535,800円
市内在住の方	141,000円	

※市内在住の方とは、次のいずれかに該当する方です。

(1)入学の日の1年以上前から引き続き周南市内に住所を有する方 (2)入学の日の1年以上前から引き続き周南市内に配偶者または1親等の親族が住所を有する方
※入学金・授業料以外に課金費(120,000円程度、1年次のみ)の納入が別途必要となります。 用その他、教科書代や学外実習費などが別途必要となります。

公立化、
学部学科
改編

周南公立大学は変わり続けます

本学のめざす未来

MISSION〈使命〉

地域の持続的発展と価値創造のための「成長エンジン」となる

VISION〈めざす姿〉

地域に根差し、地域の課題を地域とともに解決し、地域に愛され、地域に信頼され、地域が誇りに思う「地域に輝く大学」となる

VALUE〈価値観・判断の基準〉

学生のためになるかどうか、地域の発展につながるかどうか

教育・研究・社会貢献を通して地域のwell-beingを高めるべく、周南公立大学は邁進していきます。

The Latest News!

新校舎建設予定(2024年)



Access



「徳山」駅から「久米温泉口」または「ひばりヶ丘」バス20分
大学高専下 下車 徒歩3分



山陽自動車道「徳山東I.C.」より
車で5分



お問い合わせ

法人経営課

〒745-8566 山口県周南市学園台843-4-2 TEL:0834-28-4600